

第52回 全国吟剣詩舞道大会

第52回 日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛

全国吟剣詩舞道大会

令和四年五月五日(木・祝) 九時開場 九時半開会

北とびあ・さくらホール

主催・公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会
後援・日本財団

吟と舞の祭典

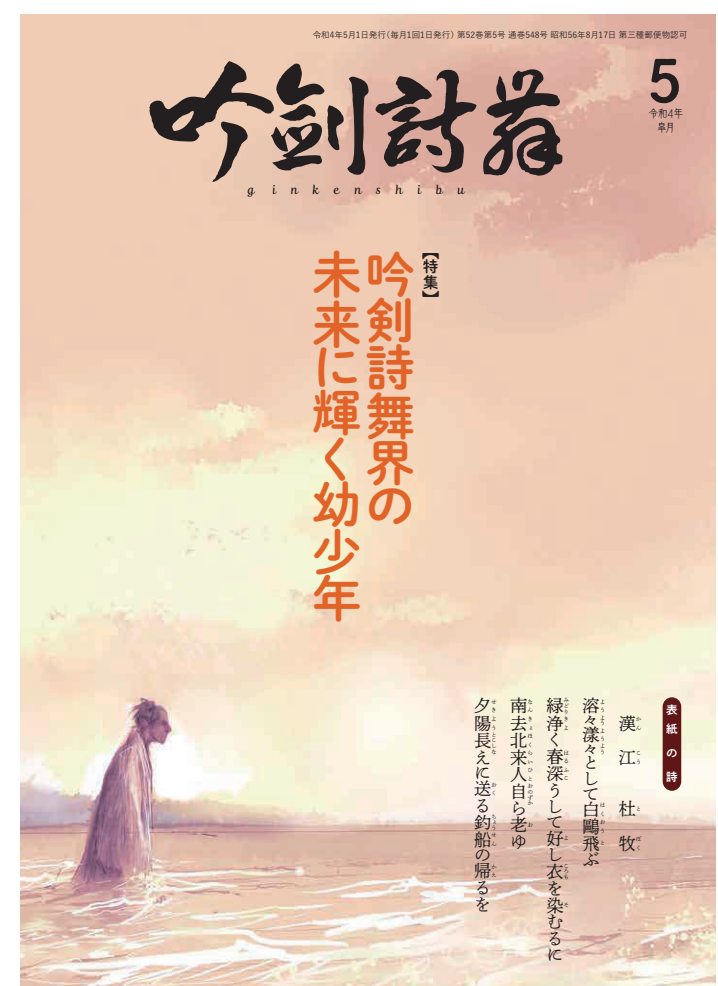
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

企画構成番組

「頼山陽」

全国吟詠合吟コンクール

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



月刊「吟剣詩舞」/毎月1日発行
サイズ:B5判/頁数:32頁程度/定価:500円
**年間購読料6,000円は、
年間割引適用により5,000円となります。**
発行・発売/公益財団法人日本吟剣詩舞振興会
TEL. 03-6721-5950/FAX. 03-6721-5960

吟剣詩舞 新創刊!

月刊吟剣詩舞は、より親しみやすく身近な話題、日頃の吟剣詩舞研鑽のお役に立てる情報をまとめたものに一新することになりました。

吟剣詩舞の最新情報が欲しい方には
会報の年間購読をお勧めします!
日本吟剣詩舞振興会が発行する月刊「吟剣詩舞」は、
全国の吟剣詩舞愛好家の皆さまの情報誌として毎月発行されています。
振興会の公式行事や各地で開催される大会の様相、
吟剣詩舞に関する専門的知識解説、テレビやラジオでの放送内容や番組表など、
吟剣詩舞ファンにとって見逃せない情報が満載されています。

CD・DVD 新発売

少壮吟士 愛吟集 ダイジェスト 7



(公財) 令和4年度
全国吟詠コンクール指定吟題
青年・一般の部 (10題) の吟詠他収録
CD 2,500円

第34回
少壮吟士吟詠チャリティーリサイタル
とき/令和3年12月19日 ところ/倉敷市民会館
第1部 少壮吟士愛吟集
第2部 企画構成番組 雪月花
DVD
第1部・第2部 (3枚1組) **6,000円**

令和3年度 全国吟詠コンクール 決勝大会

とき/令和3年11月28日
ところ/笹川記念会館
各部門の優勝・
2位・3位の吟詠
CD 2,000円
DVD 5,000円



令和3年度 全国剣詩舞コンクール決勝大会

とき/令和3年11月27日 ところ/笹川記念会館
剣舞 入賞者 DVD **6,000円**
詩舞 入賞者 DVD **6,000円**
剣舞・詩舞 入賞者 DVD
セット特別価格 **10,000円**

吟剣詩舞道伴奏集



CD カセットテープ
〈1枚〉3,000円 〈1巻〉2,000円

続 吟剣詩舞道伴奏集



CD カセットテープ
〈1枚〉3,000円 〈1巻〉2,000円

歌手も使っているミスティック
♪ 天使の歌声♪
ミスティック
Mystic
ウツラの楽曲「Mystic」
低音・高音も自由自在
不思議な3粒
3粒飲めば1時間後には
音域がぐんと広がる!!

徳用ボトル (66粒入り 22回分) 7,800円
(3粒入り 1回分) 1袋 500円
徳用ボトル1個購入に付き
3袋(9粒)サービス!!

※本品は食品です。薬品成分は含まれておりませんので、安心してお飲みいただけます。

目次

開催にあたり	1
祝 辞	2
大会役員	4
大会次第	17
式典次第	18
全国吟詠合吟コンクール	21
第四十九回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会入選者披露	43
幼少年代表・開催地代表・全国地区連絡協議会推薦 吟剣詩舞	45
全国コンクール優勝者の披露	48
特別企画構成番組『頼山陽』	55
全国吟詠合吟コンクール入賞団体発表と表彰及び大合吟	71

さんしゃいん社

電話 (0532) 32-1259 FAX (0532) 32-4231

URL <http://www.sunshine-sya.com> 愛知県豊橋市花田町小松53-2

電話・インターネットでのご注文、お問い合わせもお気軽にどうぞ!!



友だち登録しよう!

YouTube



Facebook



instagram



さんしゃいん社

検索

第五十二回全国吟剣詩舞道大会の開催にあたり

いまこそ吟剣詩舞道の振興と 事業のさらなる活性化を目指すとき

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会長

沼崎 富

このたび、全国吟剣詩舞道大会が、日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛大会として、三年ぶりに開催されますことは、吟剣詩舞道界にとって、非常に意義深いことであります。

ご周知のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大により、斯界も厳しい時期が続き、各流派、会派の皆様方には、言葉に現わせないご苦労ご心労は如何ばかりかと、心中ご推察申し上げます次第でございます。

こうした状況にある今こそ、日本の歴史の中で生まれ、日本人自身が育ててきた伝統芸道である吟詠、剣舞、詩舞を、全国の指導者と会員の皆様の協力をいただき、吟剣詩舞道を推し進めることが大切であると感じております。

本大会のメインの一つである全国吟詠合吟コンクールを従来の三十五名から十一名にコンパクトにし実施するとともに、全国コンクール優勝者による披露、幼少年代表・地区連絡協議会代表による演舞、そして特別企画構成番組「頼山陽」という見応えのある充実の一日となるものと思えます。

本大会を契機に、吟剣詩舞愛好家のみならず、広く社会一般の方々に吟剣詩舞の素晴らしさについて、改めて知っていただく良い機会になることを切望するとともに、この芸道の向上と普及の先に、これを本格的な国民芸道、すなわち、真の国民文化として発展させていきたいと考えております。

ここに日本財団の温かいご支援に深く感謝を申し上げますとともに、今後いっそうのご協力をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

祝辞

日本財団 会長 笹川陽平



このたび、第五十二回全国吟剣詩舞道大会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大により吟剣詩舞も長らく活動が制限される期間が続くなか、三年ぶりの開催にこぎつけた関係者各位の熱意と努力に対し敬意を表します。

創設者である笹川良一は、かつて、このままでは「日本は経済で栄えて魂で滅びる」と憂えていました。物質的な幸せとともに精神的な充実感、この均衡が取れてこそ真の日本人といえるのではないのでしょうか。吟剣詩舞は、人の魂に栄養を与えるにまたとない芸道です。また、次代を担う青少年に礼と節、思いやりと親孝行を教え、協調と友愛の心を育むものでもあります。一人でも多くの次代を担う青少年の参加を期待したいものです。

さらに、この日本の伝統芸能を通して、海外の方々に日本文化の豊かさや日本人の精神性を広く周知していただきたいと思います。

又、私がライフワークとして取り組む、ハンセン病の制圧活動に皆様方からの浄財を頂戴しておりますことに御礼申し上げます。

今回の大会が、日本を代表する伝統芸能として再認識される機会となるとともに、本日の大会のご成功と、ご来会の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

吟剣詩舞道憲章

詩歌は人の心の表現であり、すぐれた詩歌は人類文化の遺産である。われわれの先達は、この詩歌を吟じ、その吟により舞うことを考え、芸としての向上進歩を目ざして精進努力を重ね、吟詠、剣舞、詩舞という、わが国独自の高雅な芸道を育てあげた。

吟剣詩舞道は礼と節を、その心とする。詩歌に親しんで情操を高め、日本民族の心を探究しながら自己の陶冶を志向するこの芸道こそ、わが国の精神文化の高揚に不可欠のものがある。

われわれは、この価値ある吟剣詩舞道を受け継いだことに大きな誇りをもつと同時に、各人の研鑽と相互の協力によって、ますます斯道を隆盛に導く責任を果たさなければならぬ。しかも、その実践はこの芸道の心、すなわち礼と節の上にたたなければならぬ。その軌範として、この憲章を制定する。

昭和五十年一月十一日

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

会長

笹川良一

ほか役員一同

一、基本姿勢

吟剣詩舞道を行なう者は、礼と節とを行動の軌範とし、日々芸の研鑽と品性の陶冶に努める。

二、指導者の心構え

吟剣詩舞道を指導する者は、みづから師たるにふさわしい人格、識見を備え、指導全般にあたっては、権威をもって臨む。

三、師に対する心構え

吟剣詩舞道を学ぶ者は子弟の礼節をわきまえ秩序を堅持する。

四、分家 独立

吟剣詩舞道を行なう者が分家、独立する場合は、その組織を代表する者の許しを得る。

五、他流との関係

吟剣詩舞道を行なう者は、他流の名誉を傷つけ、秩序を乱すような言動は厳に慎む。

六、吟剣詩舞道の普及向上

吟剣詩舞道を行なう者は、大衆性と芸術性とを併せもつ斯道の今日像を正しく伝え、特に青少年層における吟剣詩舞道の普及向上に努める。

七、吟剣詩舞道の目標と相互の協力

吟剣詩舞道を行なう者は、相互に強調、互譲の精神をもって、斯道の普及振興に協力し、本会の認める姉妹団体とも、動物有機体的団結をもって、日本の伝統に基づく、国家社会の正しい発展に寄与する。

大会役員

同	同	同	大会副会長	大会会長
顧問	特別顧問	実行委員		
星井藤矢松 野上上澤永 紫游南風悠 虹洲山慶楓	横安向小廣前藤山 山永山野重島原岡 精江侑光光昊摂哲 真悠吟扇風龍楠山	清早河池 水淵野内 錦鯉鶴賢 洲將聲二	徳多沼 田田崎 寿正 風稔富	
前石鈴岡黒 田川木田木 霊春凱翠厚 泉洋山松城	青山山日松矢小 柳本路置岡萩幡 芳賀泰彩萌鳳神 朗陽洲峰洲祥叡	鈴安大大 木田本田 吟水翠直 亮鈴山樹		
志藤久豊榊 塚岡田島原 心鶴信栄静 將伯風陽芳	田多横杉野武坂 中田山浦中田本 岳正寿容秀禧徹 藤満城楓鳳洲星	田入大伊山 中倉達田 国昭不静 臣星朽将		
伊原二早山 藤口神淵中 晃岳清鯉梅 績孝竜操鈴	山八山増八益福 口文内田代中永 華剛正鵬輝鵬瀧 雋洲風泉霊山霊	遠藤藤吉 藤本上田 晃誠翔魁 楓堂山桜		



総務・庶務委員長

総務副委員長

委員

庶務・賞状作成副委員長

委員

矢赤横室山久澤足田古麻竹浅森阿田渡佐
 橋峰山橋下保石立村庄生内田山部邑辺々
 奉郁公谿神正峯洲城天聖吟契岳聖清吟鳳風嘉櫻朝
 城靈風月燈峰洲城月法春南風明鳳風嘉櫻朝
 中後稲宇小小寺田杉師深白熊宮中梶大佐
 嶋藤積波峯林嶋中山岡浦川本本澤橋々木
 宗滉清千昊岳城照翔祐精洌慧浩春鳳宗一
 聖靈翔神苑章靖風鴻学正風山風誠映風景
 春松林山丹渡粟濱中三平下奥宮甕勝北三
 菜川本治野元邦岳吟光龍嶽野鶴經吼哲梅
 翔岳靈演独精電畔雪裏煌峰劍津誠風嶺水鳳
 桂匠山志風華擘雪裏煌峰劍津誠風嶺水鳳
 長葵白石寺鈴渡毛山田高薦藤川梅小菱
 谷部井井山木邊塚下村橋田河原澤林谷
 紫秀寛誠天海皇静明鵬瑞南賀久清宗峰鵬佑
 帛鳳洲紀洲洲洲精穂山祥尚清宗峰鵬佑

原 契如 田崎 鴻聖 石井 錦文 土田 谿耀
 飯岡 鴻秋 佐藤 契渚 梅田 契璋 古賀 佳嶺
 吉澤 秀蝶 椿 谿友 五十嵐谿紀 稻葉 谿羊

毛塚 静精
 亀井 麗岳
 岡田 一穂 牧 蘇新



資材管理委員長 鈴木 洲玉

同副委員長 小池 洵風

委員 黒田 聖岳 荒井 剛嶺 鈴木 誠敬 八幡 景洲 福島 瑞洲

来賓受付委員長 上久保雪女

同副委員長 魚住 伸水 黒柳 誠心 檜山 紫翔

来賓接待委員長 星野 洲虹

同副委員長 山下 神燈 滝本 紫苑 中嶋 美声

一般受付委員長 石井 桃苑

同副委員長 寺山 天洲 広町 心純 笹野 正廣

出演者受付委員長 齋木 彩染

同副委員長 猿渡 柳水 星野 星滄 石田 鳳章 小谷野煌弘 山田 彩綺

委員 白取 北楓

司会委員長 田中 国臣

同副委員長 丹治 独風 渡辺 錦翔 秋山 精正

委員 井村 一洲 石井 嶺亮

音響委員長 小林 岳章

同副委員長 大関 勝風 奥谷 宝昌

委員 高柳 玄山 湯口 岳政

吟詠連絡舞台委員長 佐々木翠鵬

連絡副委員長 谷地 煌水

委員

海老原研風 岡部 正風 大里 靖鵬 横溝 泉鵬 福田 劔鵬 小池 棟水

小林 棋水 中倉 詩鵬 三浦 功鵬 中貴 楊鵬 新井 栄鵬 吉田 慧鵬

高杉 愼鵬 鎌倉 轟鵬 吉田 正鵬 小松 隆鵬 新井 栄鵬 吉田 慧鵬

垣下 真萩 立田 翔善 安川 堆洲 宮崎 県 今井 健鵬 今泉 樹鵬 神原 健鵬

迫 翔豪 横山 慈鵬 林 恵鵬 田中 真由 木屋 萩優 神原 健鵬

中野 瑤鵬 横山 慈鵬 林 恵鵬 田中 真由 木屋 萩優 神原 健鵬

後藤 月戈 林 扇華仙 草薙 玉翠 染谷 優戈 伊藤 愁涛 田代 華涛 内山 瞭戈

藤貴 克扇 草薙 玉翠 染谷 優戈 伊藤 愁涛 田代 華涛 内山 瞭戈

菅原静磨佐 高田 禎彰 米原 泰月 竹田 秀玄 藤田 秀蘭 山口 燕戈 児玉稀乃戈

西埜 泰芳 薄井 是道 相葉 溪元 三浦 照修 中島 剛修 大津 純修

小峯 昊苑 師岡 凱銳 佐藤 瑞鳳 古城 精宝 中島 剛修 大津 純修

三枝 契憲 薄井 是道 相葉 溪元 三浦 照修 中島 剛修 大津 純修

成田 溪汪 相葉 溪元 三浦 照修 中島 剛修 大津 純修

佐藤 志正 薄井 是道 相葉 溪元 三浦 照修 中島 剛修 大津 純修

木村 鳳鶴 榊 裳風 山田 伯峯

河上 麗風 榊 裳風 山田 伯峯

山内 峯美 五十嵐麗風 横田 幸風

広報委員 長 同副委員 長 委員

鈴木 吟亮 吉野 煌瑤 土方 昊鶴 斎藤 吟陽 安瀬 吟花

会員券委員 長

木村 鳳鶴 榊 裳風 山田 伯峯

同副委員 長

河上 麗風 榊 裳風 山田 伯峯

委員

山内 峯美 五十嵐麗風 横田 幸風

競吟委員長
熊木 雪洲

同副委員長
土屋 惠鵬

中野 吟紫
高橋 嶺香

今村 契鉅
麻生 契春

式典委員長

田中 竜真

同副委員長

武藤 嶺栄

藤井 伯陵
長谷川 煌研

委員

荻原 勝風

渡辺 川風

目黒 恭鵬
栗本 溪山

井上 鳳獅

栗本 溪将

小林 千容

飯島 滉風

大会本部

事務局長

大田 直樹

事業課長代理

大塚 政暢

大会参与

林 小 水 渡 奥 郡 野 石 佐 小 松	向 野 大 山 鉤 前 塩 池 齋 宮 胡 伊 大 後 松 小 山
煌 滯 貴 星 修 精 琴 清 嶺 静 國	山 中 森 岡 正 山 澤 田 木 本 中 東 島 藤 井 塩 本 兼
成 玉 洲 琴 葉 政 風 仁 君 篁 旺	侑 秀 英 桜 正 紫 宗 嶺 彩 精 翠 秀 需 月 松 晃 正
山 中 林 榊 安 瀬 栗 関 下 佐 橋	安 奈 橋 伏 浅 窪 上 木 中 高 柿 日 菊 前 清 笠
川 田 原 增 間 田 根 村 藤 本	部 良 本 尾 田 田 久 村 林 山 内 野 川 濱 水 井
春 子 扇 静 源 踪 姚 峰 吟 岳 精	芳 凰 華 媛 洲 心 雲 月 紀 翠 淙
土 定 岡 平 小 広 鈴 浅 佐 福 西	中 足 木 佐 内 見 石 鈴 稻 大 大 原 多 浮 熊 氏
屋 岡 安 原 池 町 木 田 藤 森 口	武 立 戸 々 藤 城 井 木 澤 野 田 田 津 木 原
恵 心 美 東 驚 心 心 秀 旭 岳 琴	星 洲 泉 道 苑 純 純 鳳 洲 瀛 玲
杉 原 藤 小 星 小 荒 鈴 高 館 小	藤 二 森 棉 田 米 田 星 埜 古 青 藤 菅 古 杉 佐
本 貴 沼 林 井 木 橋 田 林	原 神 岡 生 畑 山 中 野 賀 柳 野 源 川 浦 藤
豊 契 風 曉 天 映 凱 凱 岳 錦 鶯	光 清 盟 珠 水 岳 竜 洲 虹 朋 桜 弦 昭 右 壽 英 翔
吉 武 早 長 谷 吉 樋 佐 中 吉 小	本 田 島 崎 池 中 和 佐 奥 八 藤 溯 高 河 北 黒
田 藤 瀨 谷 山 田 沢 藤 澤 田 野	松 吉 中 湯 池 中 和 佐 奥 八 藤 溯 高 河 北 黒
帛 嶺 吟 長 岳 龍 芳 涼 吟 嶺 北	扇 榮 溪 道 新 心 扇 仙 臣 耕 星
	緑 嶽 瞭 慧 菖 義 彩 翠 精 芳 岳 法 藤 水 秀
	扇 榮 溪 道 新 心 扇 仙 臣 耕 星

岩田 正野 高橋 大平 島口 福家 神崎 吉野 萱本 佐々木 福嶋 向山 中西 芳倉 大場 藤本 平田 森 石橋 稲葉 岡田 三浦 酒井 村瀬 小笠原 久保 桃山 奥津 片山
 栄彦 選靈 湊游 瑞應 澧光 鳳山 江龍 清萌 如泉 花淳 久渟 滄洲 撰奨 岳正 紫滔 東流 聲華 穂浩 岳詔 精峰 東洲 博邦 総穰 峯國 玉涛 春溪 奏鵬
 椎原 松山 小川 土江 長田 山田 田村 若狭 谷本 西向寺 藤木 加藤 山本 繩本 上田 鈴木 岡田 松永 高田 大和 棚橋 中根 浦田 椿山 川嶋 松坂 山室 福田 長谷川
 大雅 桜鳳 鵬秀 鴻雲 岳心 瑞奨 江道 秀嶺 鵬泉 翠華 擎山 鷺風 東嶺 水学 永山 桜幻 洲峰 兼風 岳秀 精泰 淑容 岳佑 嶋邦 絢寶 真成 瑞山 秀峰 煌研
 甫守 内山 上本 永濱 桃井 泉 大越 山内 為広 草薙 土井 佐々木 坪井 加藤 植村 大西 伊東 中谷 久保田 坂井 青山 松岡 草薙 長江 飯田 小松 長嶋 坂本 三枝
 鈴蓉 光倫 竹永 幹心 鴻春 耕光 清透 松滉 泰鈴 瑞瑤 典周 翠滉 誓山 芳榮 鷺登 稜泉 驚伸 將鳳 昌風 岳静 隆陽 岳伸 典龍 奉星 報信 獅劍 契学 光風 契憲
 濱田 緑川 濱田 木地 貝出 嵯峨 山崎 石山 植原 高谷 二宮 長尾 千田 妙中 北川 岡 小林 小枝 中西 前田 前田 落合 武仲 今泉 吉村 田代 佐々木 立田 野坂
 岳涛 優聖 翠峰 玲穗 龍煌 鴻山 竹揚 靈仁 清光 信風 岳鷺 岳鵬 快紀 風鼓 曉朋 快川 銀風 槍峰 錦和 幸洲 総穂 神憲 昭劍 美風 琇峰 志汪 翔善 隆玄
 山根 福光 豊崎 石田 中野 斎藤 中野 田原 大平 木村 河村 赤木 藤岡 川口 辻本 森宗 山村 小嶋 廣瀬 松永 島 赤塚 村瀬 後藤 岡本 漆畑 篠崎 秋山 渡辺
 智陽 季瑞 士泉 瑞楠 吟鶯 公昂 應泉 莊洲 麗翔 幻泉 昇山 峻慶 鴻琳 芳葉 水桂 呀城 素心 水心 岳洲 鷹鶴 岳周 瑞朋 郊風 真風 享陽 青沙 興國 精正 錦翔

三浦	船田	皆川	金子	山尾	梅田	奥原	柳本	笹井	福井	中本	菊池	河村	矢野	松野	寺田	荒井	粉川	河上	金子	大金	平沼	久保	片平	梯	松永	山崎	牧
恵月	茨翠	龍旺	凱恍	誓慶	錦翠	櫻翔	豊州	岳煌	桜也	景姝	梅憬	志風	涼泉	春秀	洋洲	篁洲	敬心	麗風	君峰	寿楓	惣俊	正鳳	裕星	劍麗門	信洲	瑛月	庸靈
土澤	木村	佐藤	宮川	伊藤	寺嶋	藤村	建部	佐藤	寺町	中津川	若狭	竹内	小坂	前川	井上	竹内	栗原	垣下	林	諏訪	東田	竹内	日向	宮崎	山下	山北	野上
美岳	峰月	旭峰	紫茜	岳眺	錦良	希鶯	鈴鳳	岳秀	松博	瑞津	仙秀	龍馨	蘆洲	鯉佳	洋泉	騎峰	超歌	真萩	精郷	美心	鶯洲	淳泉	日向	透山	義喜	鈴川	眞靈
柳生	鈴木	中島	渡部	佐藤	館岡	多田	関根	新郷	藤原	吉田	新名	岸本	志田	坂本	森	愛知	田崎	藤井	齋藤	前野	松葉	日向	本田	森山	松本	村上	
吟川	遊月	園心	鳳堂	刀洲	奥鵬	岳洲	靖桜	龍岳	黎元	稻山	靈靄	岳靖	撰領	碩秀	眺終	紫嵩	鴻聖	伯陵	心晃	翔漱	水勳	春峰	京星	鵬洋	豊旺	高靈	
師岡	藤田	杉林	澤上	佐藤	片倉	大山	吉田	岩崎	山本	亀谷	小田	谷野	河田	金戸	洞	今村	鈴木	清宮	高田	阿部	稲田	森	高巢	石村	山下	清家	
凱銳	吟孜	光樹	吟琇	宸洲	空城	翔峯	徳桜	岳萌	翠浩	龍藍	孝風	恍風	婉城	静華	叡城	彩邦	鳳洲	吟照	禎彰	清心	菖胤	豪神	娟峰	岳光	松風	穂香	
佐藤	大塚	井川	中根	高橋	庄子	長澤	阿部	目黒	師岡	石田	草薙	楠部	吉村	藤田	小嶋	上杉	中嶋	猿渡	藤生	藤木	亀山	雨宮	濱崎	藤本	江口	折敷	
瑞鳳	隆豊	邑帥	静褒	一誠	輝泉	岳姚	國耀	岳眞	祐愛	瑞房	賢風	齋山	應洲	鳳風	峰翔	翠玲	美声	柳水	翠稜	岳龍	尚侑	國風	暁舶	詩堂	撰荘	露靜	

和嶋 辻 椎原 岡田 徳弘 下村 大勝 井上 安藤 芝原 大窪 大野 藤岡 坂本 二宮 高口 豊岡 野田 福井 久保田 日下 平井 山本 兒玉 秦 島村 二井谷 木戸 岸田
 峰 栄水 恵雅 岳漳 溪将 容宗 春秀 幹山 鴻蓉 水聖 勢鶯 江姚 江心 香峰 裕水 姤泉 址泉 湘風 姚泉 章風 丘泉 潤翠 龍貴 江風 早洲 弘山 谷健山 翔希声 天洲
 岩田 湯本 吉竹 西村 西村 長崎 岡田 明神 椎江 田村 矢野 山本 武田 宇都宮 河端 篠原 合田 中村 尾松 和泉 永山 関口 菅源 秦 藤本 新内 蘭田 末広 児島
 栄篁 阮靈 誥靈 容育 靈洗 宇岳 容映 岳春 景公 水龍 公琇 紫煌 翠信 若翠 守風 江風 靈幹 靈花 靈訓 麗煌 左翔 鶯洲 靜寿 賀久隆 華山 盛峰 昂山
 石田 楠本 齋藤 窪内 北村 田中 村上 大西 林 高島 藤村 大森 西渕 矢野 三瀬 菰田 山本 川原 安藤 鍛冶田 松原 松浦 伊井野 北野 高木 道田 白井 小谷 小林
 翔祥 啓風 裕晃 寛鳳 秀綜 靈鳳 岳咏 静岳 景華 水功 瑞宝 麗禎 秀蘭 翠楓 松宣 鳳秀 靈粹 靈鵬 鶴風 綾風 良紀 典高 婉風 煌山 翠画 賀清範 翠山
 江藤 長谷 古賀 岡野 岡林 秋山 瀧下 徳橋 吉田 坂東 森脇 篠原 寺尾 堀田 森 大窪 野方 吉岡 橋崎 佐々木 前原 吉川 遠藤 東 吉村 竹森 楠部 中島 杉原
 光鈴子 川芳泉 鶯鳳 麗風 紫秀 容芽 鵬龍 鵬聖 泰山 鴻奏 櫻泉 脇泉 恒洲 燧翔 慧洲 柳星 洋泉 靈裕 圭風 洋風 撰正 豊山 菁風 彪華 倫山 翔竜 馨仁
 内藤 小塩 堺 永渕 中澤 谷田 長崎 北村 原田 米田 宮本 岡崎 大西 大野 中井 西藤 松川 渡邊 吉中 多田 長尾 京兼 加藤 佐伯 白濱 菅源 秋山 中西 片山
 光廉 岳翔 晃生 楠風 扇風 姿城 聆岳 秀鈴 祥洸 珠穂 勢洲 雄光 溪裕 佳翠 静玲 櫻山 天風 靈操 緑風 黛泉 曾泉 揮泉 愉春 統風 妃風 右近 翠柳 潮誠 久山

熊谷 田中 井上 金山 矢立 安倍 片岡 古城 石川 飛田野 水谷 湖上 山中 杉田 藤本 服部 前田 日下 姫嶋 廣瀬
 栄亮 容響 菖嶺 孝風 鳳山 秀風 承鵬 精宝 渾風 神藍 嶺華 蘇孝 鈴鷺 肯靈 統堂 桜局 卓靈 光真子 光微子 光詔子
 上杉 中野 小澤 曾田 寺本 小嶋 成田 丹羽 川上 関澤 吉田 鳥生 藤城 有澤 永野 古川 伊藤 黒枝 藤本 原田
 史星 琇城 薫風 麗翠 龍山 一心 秀桜 龍風 秋水 紫圭 章桜 蘇弘 宗文 岳幸 岳尚 岳勝 翠鳳 光秋子 光慎子 光玲子
 山中 田中 村田 村山 佐々木 上田 経田 白男 大野 若槻 高橋 森田 池田 富永 平野 中川 大坪 春藤 蟻川 橋本
 梅鈴子 靈明 瑞龍 麗州 水風 岳悠 鸞苑 酬月 岳祥 峻鷺 一星 趣峰 紅星 岳晴 義若 松蓮 光馥子 内藤 嶂靈
 伊東 堅田 寺澤 名越 小川 植田 寺田 今村 五月 後藤 井上 森田 向山 向山 金房 北村 森 倉原 岩本 藤田
 響峰 妙游 瑞寛 松苑 聡風 飭菖 将暉 契鉅 女凱昂 祐岳 翔耀 和星 侑珠 侑里 千代藤 桜京 豊彗 光弘子 瑛侯
 大野 河野 大西 寺尾 玉井 木村 田辺 加藤 宇井 渡部 秋葉 榮 宮原 高根 佐々野 三木 北原 大野 伊藤 深田
 豊華 声洲 環泉 静咲 薫風 紫航 水心 契琵 修光 宗堂 琴紫 岳蓉 侑曲 麗峰 野岳鈴 勝風 勢風 光興子 振靈

全国剣詩舞コンクール指定吟題CDのご案内

令和4年度

吟剣詩舞道 吟詠集

収録音源は日本吟剣詩舞振興会
令和4年度全国剣詩舞コンクールで使用されます。

待望の
令和4年度版
発売!



CD本体価格 **3,000**円 (送料別)

[編曲] 船川利夫、河野正明

[伴奏] (箏) 石垣清美、(+七絃) 柿木原こう、(尺八) 河野正明

[監修・制作] 公益財団法人日本吟剣詩舞振興会

剣詩舞全16曲収録!

剣舞

吟題	作者	吟士
幼年・少年の部		
桶狭間を過ぐ	大田錦城	田村鳳泉
書懐	篠原国幹	奥山紅雫
那須与一宗高	松口月城	宇井修光
青年・一般の部		
逸題	山内容堂	梶原麗修
垓下の歌	項籍	松葉水草
中庸	元田東野	向山侑珠
北庄懐古	芳川越山	米本耿泉
[和歌] 吹く風を	源義家	八代光晃子

詩舞

吟題	作者	吟士
幼年・少年の部		
応制天の橋立	釈希世	野中秀宗
清明	杜牧	伊東響峰
[短歌] ふるさとの	石川啄木	辻栄水
青年・一般の部		
赤馬が関舟中の作	伊形靈雨	山岡桜山
生田に宿す	菅茶山	塩澤宗鳳
漢江	杜牧	植田飭菖
梅花絶句	土屋竹雨	伏尾琵琶城
[和歌] あさみどり	明治天皇御製	伊藤契麗

お申し込みは、氏名、住所、電話番号、発送先、お申し込み数量を、日本吟剣詩舞振興会あてにご連絡ください。

公益財団法人 **日本吟剣詩舞振興会** TEL **03-6721-5950**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 FAX 03-6721-5960 <https://www.ginken.or.jp>

吟ボード GB-250 音程チューナー付!

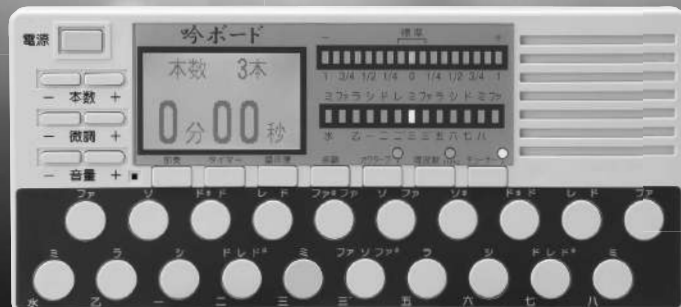
音程の狂いが
光の色で
わかります

正しい発声と音程が 確実に身につく

楽器と音程チューナーの一体型

音程が合っているかを、色で判定してくれます。

大音量!
キレイな音色
薄型で
スタイリッシュ!



寸法：幅 220mm × 奥行100mm × 高さ 27mm

業界初

イヤホン・外部マイクを
使用せず、声の音程を
優先チェック可能!

GB-250 音程チューナー付
定価 **34,800円** (税込 **38,280円**)

*金利・手数料のかからない分割払いも承ります。

吟ボード GB-250 音程チューナー付の特長

- ◆ 大音量の CD 伴奏曲を流しながら、吟じた声の音程チェックが出来る一体型コンダクター!
伴奏曲との調和の練習に最適! ※外部マイクジャック使用
- ◆ イヤホン・外部マイクを使用せずにスピーカーから音を鳴らしながら、声の音程を優先チェック出来るのも吟ボード GB-250 独自の機能! ※特殊な技術で設計しております。
- ◆ 音階(ラシドミファラシド)・微調(音程が正しい・1/2等の狂い)全てがLED(ランプの色)で認識できるので、シンプルで分かりやすい!
- ◆ 4~5メートル離れた声にも反応します。
- ◆ 録音機能により、全てのご流派の節調を全本数で何度でも再生可能です。
- ◆ 音質をはじめ、皆様が使いやすいと感じられる様に工夫して設計しております。

- ✦ 液晶画面は見やすいバックライト付
- ✦ 液晶画面の文字を拡大表示
- ✦ 録音機能(吟ボードで弾いた曲を3曲)
- ✦ 前奏(2パターン)・タイマー・余韻
- ✦ 俳句切替(陰・陽・律3パターン)
- ✦ 本数(水6~12本)・オクターブ
- ✦ 周波数切替(440Hz・443Hz)
- ✦ 1オクターブ上の「ファ」あり
- ✦ 指1本でも簡単に弾ける鍵盤
- ✦ 音程のとりやすい音質
- ✦ エコ機能(オートパワーオフ)

吟ボード GB-500

前奏・タイマー・俳句の切替・余韻・オクターブ・周波数443Hz切替、全て標準装備! 業界最安値!!

操作もカンタン 大音量 綺麗な音色

軽くて 小型 薄型

高級スピーカーを搭載

GB-500
定価 **27,800円** (税込 **30,580円**)
*金利・手数料のかからない分割払いも承ります。

寸法：幅 220mm × 奥行100mm × 高さ 27mm

5,000円相当のセット品付き [2機種共通]



無料講習会実施中

株式会社チカモリ

〒338-0006
埼玉県さいたま市中央区八王子 2-17-6
TEL・FAX 048-858-6779

0800-0800-345 (無料)
フリーコール
(株)チカモリ 検索
E-mail: chikamori7@yahoo.co.jp
URL: http://www.chikamori7.co.jp

第52回 日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛

全国吟剣 詩舞道大会

二〇二二年五月五日（木・祝）

次 第

- 一、開 場 九時〇〇分
- 二、式 典 九時三〇分
- 三、全国吟詠合吟コンクール 一〇時二〇分
- 四、第四十九回全国少壮吟詠家審査コンクール
決選大会入選者披露 一三時四〇分
- 五、幼少年代表・開催地代表・
全国地区連絡協議会推薦吟剣詩舞 一四時〇五分
- 六、全国コンクール優勝者の披露 一四時四〇分
- 七、特別企画構成番組
『頼山陽』 一六時〇〇分
- 八、全国吟詠合吟コンクール
入賞団体発表と表彰及び大合吟 一七時三五分
- 九、閉会のことば 一七時五五分

式典次第

〔司会〕 田中 国臣 九時三〇分

- 一、国歌 斉唱
- 二、会長 挨拶 公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会長 沼崎 富
- 三、祝電披露
- 四、高松宮妃癌研究基金奉賛目録贈呈
- 五、吟剣詩舞奨励賞授与
- 六、令和三年度吟剣詩舞大賞受賞者発表と表彰
- 七、第四十二期少壮吟士(全国少壮吟詠家審査コンクール優秀成績者)紹介と表彰

令和三年度(第三十五回)

吟剣詩舞大賞 芸術賞・功労賞受賞者

順不同・敬称略



芸術賞

徳田 寿風

香川 七十三歳

臥風流吟詠会副会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会副会長、四国地区連絡協議会議長



功労賞

八文字 剛洲

東京 七十八歳

剛洲吟詠会会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会評議員、東日本地区連絡協議会特別顧問



功労賞

杉山 翔鴻

静岡 七十七歳

静岡吟詠会会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会元老、中部地区連絡協議会副議長



功労賞

山口 華雋

大阪 七十九歳

(公社)関西吟詩文化協会華洲会会長、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会評議員、近畿地区連絡協議会特別顧問



功労賞

向山 侑吟

熊本 七十七歳

吟道清吟流宗主、公益財団法人日本吟剣詩舞振興会顧問、九州地区連絡協議会特別顧問

吟剣詩舞大賞 表彰制度

- 一、趣旨
公益財団法人日本吟剣詩舞振興会(以下「公益財団」という)は、吟剣詩舞道において、優れた技量を有する者、及び多大な功績をあげた者を表彰するため吟剣詩舞大賞表彰制度を制定する。
- 二、賞の種類
吟剣詩舞大賞は、部門賞としての吟剣詩舞三賞、及び特別賞としての吟剣詩舞芸術大賞に分けられ、内容は次のとおりとする。
- イ、吟剣詩舞三賞
(1) 文化賞
吟剣詩舞の学術的研究で功績著しい人、及び吟剣詩舞界の全体的な発展啓蒙に功績ある人に与える。
(2) 芸術賞
吟剣詩舞の芸術面で卓越した人に与える。
(3) 功労賞
吟剣詩舞の普及および公益財団運営の面で功績の大きい人に与える。
- ロ、吟剣詩舞芸術大賞
吟剣詩舞の技芸の域が最高にある人に与える。なお、吟剣詩舞芸術大賞該当者が推薦された場合は、文部科学大臣表彰を文化庁を通じて上申することができる。
- 三、表彰の時期
公益財団の主催する全国吟剣詩舞道大会において表彰する。
- 四、選考方法
公益財団会長の諮問機関として、吟剣詩舞大賞選考委員会を設けて選考する。

吟剣詩舞大賞
芸術賞・功労賞受賞者

吟劍詩舞大賞受賞者

昭和六十年度(第一回)
 芸術大賞 笹川 鎮江(東京)
 功勞賞 諸富 一郎(京都)
 昭和六十一年度(第二回)
 文化賞 黒川 哲泉(大阪)
 芸術賞 深田 光霊(大阪)
 昭和六十二年(第三回)
 功勞賞 牛尾 榮洲(東京)
 昭和六十三年(第四回)
 功勞賞 太田 修道(千葉)
 平成元年度(第五回)
 芸術賞 横山 岳精(神奈川)
 平成二年度(第六回)
 功勞賞 吉岡 清風(愛媛)
 功勞賞 竹末 岳陽(長崎)
 平成三年度(第七回)
 功勞賞 牧 蘇山(熊本)
 功勞賞 高群 花子(福岡)
 功勞賞 白神 錦城(大阪)
 平成四年度(第八回)
 文化賞 船川 利夫(静岡)
 功勞賞 菅原 雪山(東京)
 功勞賞 多田正千栄(大阪)
 功勞賞 山田 靖邦(岡山)
 平成五年度(第九回)
 功勞賞 伊東 秀峰(熊本)
 功勞賞 妻木 正麟(神奈川)
 功勞賞 早淵 鯉昇(兵庫)
 平成六年度(第十回)
 功勞賞 後藤 岳星(大阪)
 功勞賞 海老澤 宏升(東京)
 功勞賞 石川 春洋(東京)

平成八年度(第十一回)
 功勞賞 伊藤 竹外(愛媛)
 功勞賞 高木 残峰(愛媛)
 功勞賞 野田 紫水(熊本)
 功勞賞 星野 紫虹(神奈川)
 功勞賞 青柳 芳枝(兵庫)
 平成九年度(第十二回)
 文化賞 石川健次郎(東京)
 文化賞 青方 健介(東京)
 芸術賞 河田 神泉(岡山)
 芸術賞 山岡 哲山(兵庫)
 芸術賞 入倉 昭星(愛媛)
 平成十年度(第十三回)
 功勞賞 石丸 清泉(愛媛)
 功勞賞 高群 華要(福岡)
 功勞賞 荒木 清峰(兵庫)
 功勞賞 山本 晃正(東京)
 平成十一年度(第十四回)
 芸術賞 鈴木 吟亮(東京)
 功勞賞 工藤 龍堂(東京)
 功勞賞 浦口 鉄男(北海道)
 功勞賞 武田 静宗(京都)
 功勞賞 大西 麗風(香川)
 平成十二年度(第十五回)
 功勞賞 小山 風慧(東京)
 功勞賞 濱田 哲城(大阪)
 功勞賞 河野 吼山(広島)
 平成十三年度(第十六回)
 功勞賞 田口 芳雲(京都)
 功勞賞 若林 實雲(栃木)
 功勞賞 益中 櫻月(熊本)
 功勞賞 桂 心豊(北海道)
 功勞賞 白杵 鷺泉(香川)

平成十四年度(第十七回)
 功勞賞 榊原 静芳(埼玉)
 功勞賞 小幡 神寂(愛媛)
 功勞賞 金井 心彰(群馬)
 功勞賞 坂本 岳雄(宮崎)
 功勞賞 厚城 滋賀(滋賀)
 平成十五年度(第十八回)
 功勞賞 小倉 契秀(神奈川)
 功勞賞 西出 廣洲(奈良)
 功勞賞 河野 鶴洲(福岡)
 功勞賞 上家 濤邦(愛媛)
 平成十六年度(第十九回)
 功勞賞 山中 梅鈴(熊本)
 功勞賞 西形 興信(神奈川)
 功勞賞 清水 照鵬(愛媛)
 功勞賞 松永 悠楓(栃木)
 功勞賞 小笠原紫曉(兵庫)
 平成十七年度(第二十回)
 功勞賞 大本 旭章(岡山)
 功勞賞 椎野 瑞城(徳島)
 功勞賞 菊池 吟正(東京)
 功勞賞 福永 瀧霊(大阪)
 功勞賞 今村 騰洲(大阪)
 平成十八年度(第二十一回)
 功勞賞 菅原 雪山(東京)
 功勞賞 箕輪 緑崇(大阪)
 功勞賞 太田 修道(千葉)
 功勞賞 梅田 賀久秀(広島)
 功勞賞 宮原 伯州(北海道)
 功勞賞 藤井 芳洲(大阪)

平成二十年度(第二十三回)
 功勞賞 石濱 陽明(愛媛)
 功勞賞 藤上 南山(岡山)
 功勞賞 西 岳栄(長崎)
 功勞賞 鈴木 凱山(栃木)
 功勞賞 松尾 鷺患(大阪)
 功勞賞 茂木 宋洲(山形)
 平成二十一年度(第二十四回)
 功勞賞 杉浦 容楓(愛媛)
 功勞賞 小松 大獅(山梨)
 功勞賞 早淵 鯉操(兵庫)
 功勞賞 岡田 翠松(愛媛)
 功勞賞 豊島 栄陽(福岡)
 功勞賞 辻本 實峰(大阪)
 平成二十二年度(第二十五回)
 文化賞 篠原 久(東京)
 功勞賞 宮田 実龍(大阪)
 功勞賞 青柳 芳寿(朗)(兵庫)
 功勞賞 松岡 吟琇(北海道)
 功勞賞 武田 禧洲(愛媛)
 功勞賞 野口 節風(福岡)
 平成二十四年度(第二十六回)
 功勞賞 小野光翠扇(大分)
 功勞賞 矢澤 風慶(神奈川)
 功勞賞 井川 賀登(兵庫)
 功勞賞 山下 岳惶(石川)
 功勞賞 二神 清竜(愛媛)
 功勞賞 古賀 桜州(佐賀)
 平成二十五年度(第二十七回)
 功勞賞 前島 昊龍(東京)
 功勞賞 松岡 萌洲(東京)
 功勞賞 野中 秀風(高知)
 功勞賞 佐々木嶺城(広島)
 功勞賞 多田 鶴霊(大分)

平成二十七年(第二十九回)
 功勞賞 田中 岳藤(長崎)
 功勞賞 安倍 秀風(京都)
 功勞賞 久保田信風(岐阜)
 功勞賞 石川 春洋(東京)
 功勞賞 藤川 鶴伯(大阪)
 功勞賞 三原 瑞頭(徳島)
 平成二十八年(第三十回)
 功勞賞 中山 賢風(北海道)
 功勞賞 横田 岳理(埼玉)
 功勞賞 日置 彩峰(愛媛)
 功勞賞 岡田 岳龍(大阪)
 功勞賞 日枝 師鵬(岡山)
 功勞賞 三田 梅風(愛媛)
 平成二十九年度(第三十一回)
 功勞賞 畑中 景心(北海道)
 功勞賞 志塚 心将(群馬)
 功勞賞 佐々木 一景(京都)
 功勞賞 廣重 光風(山口)
 功勞賞 前田 靈泉(香川)
 功勞賞 伊藤 晃績(福岡)
 平成三十年(第三十二回)
 文化賞 河野 正明(神奈川)
 功勞賞 広渡 英治(三重)
 功勞賞 山路 泰洲(千葉)
 功勞賞 横山 寿城(大阪)
 功勞賞 井上 游洲(岡山)
 令和元年度(第三十三回)
 文化賞 青野 紘三(愛媛)
 功勞賞 渡辺 櫻虎(神奈川)
 功勞賞 多田 正稔(大阪)
 功勞賞 安永 江悠(愛媛)
 令和二年度(第三十四回)
 功勞賞 佐々木朝鵬(東京)
 功勞賞 山内 正風(愛媛)
 功勞賞 北川 哲夫(奈良)
 功勞賞 山本 賀陽(香川)
 功勞賞 古庄 吟法(熊本)

令和四年度全国吟詠合吟コンクール

一〇時二〇分

令和四年度全国吟詠合吟コンクール 実施要項

審査委員長 副会長 徳田寿風

特別審査委員 演奏家 河野正明

審査委員 理事 宮川紫朋

代議員 奥村精暉

代議員 田畑水姫

代議員 前山紫峰

理事 河野鶴聲

代議員 和田彩楓

代議員 池田嶺煌

理事 清水錦洲

代議員 藤原光伶子

代議員 池田菖黎

伴奏

運営規定

財団指定『吟剣詩舞道伴奏集』（本数及び曲目はあらかじめ届け出たもの）による。

① 出場団体の吟詠は漢詩絶句一題。吟題は課題吟の中からあらかじめ届け出たものとする。吟詠時間は二分以内。一節を先導者が独吟し、くり返さず、次の節からすぐ合吟に移るものとする。

② 審査は日吟振内規による「吟詠コンクール審査規定」に準じ、各審査委員の持ち点を一〇〇点とし、その合計点によって順位を決める。一位から三位までを特別入賞とし、四位から二十五位までを一般入賞とする。上位同点の場合は審査委員長長の決裁により決定する。

③ 賞状と賞品は次のように授与される。

一位 高松宮妃記念旗、日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、金メダル

二位 日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、銀メダル

三位 日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、銅メダル

入賞（四位～二十五位） 日本吟剣詩舞振興会長吟詠奨励賞

令和四年度

全国吟詠合吟コンクール

令和四年度全国吟詠合吟コンクール
指定吟題

- 〈令和三年度 絶句編〉
- ① 花に對して旧を懐う
 - ② 夜墨水を下る
 - ③ 芳野懷古
 - ④ 偶成
 - ⑤ 舟由良港に到る
 - ⑥ 邨山
 - ⑦ 従軍行
 - ⑧ 汪倫に贈る
 - ⑨ 絶句(江碧にして)
 - ⑩ 桑乾を渡る
- 〈令和三年度 続絶句編〉
- ⑪ 松島
 - ⑫ 筑波山の絶頂に登る
 - ⑬ 日本刀
 - ⑭ 長城
 - ⑮ 夜直

積 義堂
服部 南郭
藤井 竹外
木戸 孝允
吉村寅太郎
沈 佺期
王 昌齡
李 白
杜 甫
杜 島
買 島
王 安石

- 〈令和元年度 絶句編〉
- ① 海南行
 - ② 武野の晴月
 - ③ 月夜三叉口に舟を泛ぶ
 - ④ 夜坐
 - ⑤ 中庸
 - ⑥ 鶴鶴楼に登る
 - ⑦ 山中幽人と対酌す
 - ⑧ 烏衣巷
 - ⑨ 酒に對す
 - ⑩ 金縷の衣
- 〈令和元年度 続絶句編〉
- ⑪ 月夜禁垣外を歩す
 - ⑫ 爾靈山
 - ⑬ 宝船
 - ⑭ 漢江
 - ⑮ 初夏即事

細川 頼之
林 羅山
高野 蘭亭
藤田 東湖
元田 東野
王 之 渙
李 白
劉 禹 錫
白 居易
杜 秋娘
杜 牧
王 安石

令和五年度
全国吟詠合吟コンクール
指定吟題

- 絶句編
- 1 春日山懷古
 - 2 壇の浦を過ぐ
 - 3 城山
 - 4 獄中の作
 - 5 春日偶成
 - 6 涼洲詞
 - 7 芙蓉楼にて辛漸を送る
 - 8 峨眉山月の歌
 - 9 烏江亭に題す
 - 10 事に感ず

大槻 盤溪
村上 仏山
西 道僊
高杉 晋作
夏目 漱石
王 昌齡
王 翰
李 白
杜 牧
于 湮

- 続絶句編
- 11 春の花を尋ぬ
 - 12 偶成
 - 13 花を惜しむ
 - 14 城東の荘に宴す
 - 15 山中問答

菅 三品
大鳥 圭介
福沢 諭吉
崔 敏童
李 白

令和四年度全国吟詠合吟コンクール
出場団体

〈吟題〉	〈作者〉	〈出場団体名〉	〈区分〉	〈出身〉
1 桑乾を渡る	買 島	吟道精修流Bチーム	女子	神奈川
客舎并州已に十霜 帰心日夜咸陽を憶う 端無くも更に渡る桑乾の水 却って并州を望めば是れ故郷	小池 志柳 玉城 彩山	服部 志美 遠藤 知山	板山 志櫻 蒲谷 芳山	中山 志芳 松田 雅山
2 汪倫に贈る	李 白	長崎県吟剣詩舞道総連盟	女子	長崎
李白舟に乗って将に行かんと欲す 忽ち聞く岸上踏歌の声 桃花潭水深さ千尺 及ばず汪倫が我を送るの情に	藤本 詩堂 鹿 岳紅	中山 優堂 松田 秀岳	山口 瑛堂 中村 和岳	津村 玉玲 桐野 虹風
3 芳野懷古	藤井 竹外	吟道精修流Aチーム	男子	神奈川
古陵の松柏天鷹に吼ゆ 山寺春を尋ぬれば春寂寥 眉雪の老僧時に帯くことを轍め 落花深き処南朝を説く	三浦 照修 齋藤 英山	利根川志水 勝沼 範泉	平野 志海 上田 幸泉	飯塚 志邦 渋谷 参泉
				森川 久風 溝口 景昭
				矢野 俊山

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ねれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

埼玉県吟剣詩舞道総連盟 男子 埼玉
林 精郷 藤井 伯陵 佐藤 北流
海老原研風 岡部 正風 山之内煌聖 上原 北晴
菅田 東将 横田 北舟
坂東 邦祥 佐藤 心長

日本刀

鍛冶研磨す幾百回
霜鋒三尺玉に埃無し
疑わず日本刀の犀利なるを
曾て盤根錯節を試み来る

大鳥 圭介

契秀流吟詠会Bチーム 男子 神奈川
三枝 契憲 大槻 契厳 小林 契早 中山 契哲
坂井 仁心 直井 精心 金子 昇心 鈴木 秀鳳
古川 平野 契保 京増 龍心
向平 淳

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

神刀無念凱山流 男子 栃木
神野 凱離 若目田凱梅 坂本 凱信 師岡 凱銳
今井 凱然 鷹嘴 嶺山 上野 臣山 大友 凱城
鈴木 凱壯

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ねれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

公益社団法人日本吟道学院桜吟会 男子 東京
大嶋 秩祥 真下 龍幸 高村 勝龍 武藤 高龍
高田 晴祥 矢口 哲城 泉妻 正城 石井 宏水 渡部 康龍
甲斐 昭龍

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

煌成流煌成会 女子 東京
林 煌月 西條 煌花 古河 煌良 小椋 秀成
猿渡 紫成 米津 夕成 丸山れいこ 加藤木心音 スワン桜花成 木村 風成

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

日本吟心流詩吟國舟会 女子 神奈川
齋藤 國陽 藤井 國馨 安齋 國晶 川合 國涼
下村 國等 横田 國真 廣田 國惇 廣田 國翠 有元 國輝
江藤 國紅 穂津 國恭

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ねれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

朝翠流朝翠会本部Aチーム 女子 神奈川
吉田 慧鵬 高野 愈鵬 森内 優鵬 篠崎 和鵬
大野 栄鵬 田中 瑞鵬 中野 瑤鵬 佐藤 慧鵬 小菌 秀鵬
龜田 隆鵬 野田 英鵬

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

公益社団法人日本吟道学院奉吟会 女子 東京
大塚 龍生 中村 知龍 熊谷 悠龍 佐々木文龍 田中 聖龍
松沢 昌祥 秋山 英祥 関根 福城 大山 伸水 北川 恵洲

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ねれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

朝翠流朝翠会本部 男子 神奈川
今井 健鵬 目黒 恭鵬 市倉 詩鵬
横溝 泉鵬 和田 玖鵬 清田 雲鵬

三浦 功鵬
栗原 青鵬

今泉 樹鵬
辻井 剛鵬

神原 健鵬

宝船

寿海波平かにして紅旭鮮かなり
遙かに看る宝字錦帆の懸るを
同乗の七福皆笑いを含む
知る是れ金銀珠玉の船

藤野 君山

岳精流日本吟院多摩岳精会 女子 東京
大根田 精貞 高村 龍静 住吉 龍紅
加藤 敬山 井上 廣山 押尾 和山

幕田 純風
落井 由泉

家吉 美風
高橋 好

市川 恵山

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ねれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

朝翠流朝翠会本部Bチーム 女子 神奈川
大滝 李鵬 中貫 楊鵬 新井 栄鵬
林 恵鵬 秋山 弘鵬 横山 慈鵬

武田 佑鵬
清田 彩鵬

下重 旬鵬
遠藤 和鵬

佐藤 芳鵬

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

埼玉県吟剣詩舞道総連盟 女子 埼玉
星野 星滄 石田 鳳章 石井 錦文
川田 星紅 田浪 東煌 松村 東敬

齊藤 薫洲
大石 東怜

松村 白正
田原 汪麗

白取 北楓

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

東京都吟剣詩舞道総連盟 男子 東京
小倉 喜岳 加藤 岳悠 栗原 晃水
杉本 嶽駿 長谷川 蘭聖 本田 白郷

斎藤 吼章
三浦 唳泉

佐藤 洲吟
吉川 皎陽

白田 芦勘

中庸

勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勧む須らく中庸を択び去くべし
天下の万機は一誠に帰す

元田 東野

公益社団法人日本吟道学院緑神会 男子 東京
鈴木 龍康 土志田 龍幸 中村 克龍
中間 富祥 鈴木 節城 村田 敏城

松山 輝龍
松本 賢城

本杉 忠龍
石井 泰水

渋谷 敏龍

中庸

勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勧む須らく中庸を択び去くべし
天下の万機は一誠に帰す

元田 東野

心彰流愛吟詩道会 男子 群馬
堀川 心匠 萩原 心剛 赤松 心良
佐藤 心憲 戸田 心隆 見城 心隼

武藤 心篤
鈴木 愛成

久保寺 心淳
高橋 泰成

奥村 心敏

海南行

人生五十功無きを愧ず
花木春過ぎて夏已に中ばなり
満室の蒼蠅掃えども去り難し
起って禅榻を尋ねて清風に臥せん

細川 頼之

栃木県吟剣詩舞道総連盟西部地区協議会 男子 栃木
柳田 明富 杉田 重溪 神村 泰堂
飯塚 溪空 斎藤 溪飛 斎藤 溪白

高野 脩繁
増澤 英己

渡邊 吟峰

平岩 重亮

令和四年度 全国吟詠合吟コンクール

宝船

寿海波平かにして紅旭鮮かなり
遙かに見る宝字錦帆の懸るを
同乗の七福皆笑いを含む
知る是れ金銀珠玉の船

藤野 君山

翔鴻流静陵吟詠会 女子 静岡

浅岡 寿鴻 山本 璃鴻
山本 淑翔 深井 婉翔
疋田 珠鴻
田中 涼翔

池田 美鴻
石川 緑翔

川合 邦鴻
中島 賀翔

松井 紫翔

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

日本吟声流鈴チーム 女子 熊本

山内 鈴鏡 安部井 鈴裕
金子 鈴京 光江 鈴江
山北 鈴川
赤星 鈴鐘

岩野 鈴房
米山フミ子

南 鈴朋

矢野 鈴友

中庸

勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勧む須らく中庸を択び去くべし
天下の万機は一誠に帰す

元田 東野

心彰流愛吟詩道会 女子 群馬

高木 心富 碓氷 心雅
阿久澤 真学 松本さち子
栗原 心潮
未羽

星野 心江
藤井美賀子

内山 尚成
川田 恵愛

諏訪 瑤修

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

吟亮流吟風会 男子 東京

三橋 吟健 中村 吟孝
佐藤 吟尚 中川 吟圭
安達 漢風

田島 吟正
大島 吟豊

武藤 吟柳
野上 鵬風

大蔵 吟貴

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

紫虹流吟剣詩舞道会 女子 神奈川

檜山 紫翔 吉田 紫鶯
宮本 紫華 石井 虹扇
櫻井 桜麗

星野 紫婉
櫻井 桜舞

細岡 紫声
森内 桜月

荒崎 紫春

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

旦早流吟詠会 男子 東京

奥 旦秋 中村 旦清
益田 旦邦 山藤 旦勝
有坂 中山 旦徹
直早

柴田 旦養
田村 榮山

高野 旦耕
松岡 進山

中村 旦精

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

日本修道流吟詠会 Aチーム 男子 千葉

太田 修道 境 修正
古舘 修明 手塚 修樹
岡田 修繁
加藤 誼山

小倉 修祥
野島 浩山

江波戸 修弘
日野 修進

緒方 修清

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

契秀流吟詠会 Bチーム 女子 神奈川

麻生 契春 原 契如
梅田 契璋 荻山 泉心
長嶋 契学
米須 聖心

阿部 契任
種本 秀尊

宇津木 契悦
増田 裕秀

吉田 契翠
赤石 秀美

宝船

寿海波平かにして紅旭鮮かなり
遥かに看る宝字錦帆の懸るを
同乗の七福皆笑いを含む
知る是れ金銀珠玉の船

藤野 君山

岳精流日本吟院多摩岳精会 男子 東京

漆原 諄風 家吉 精雄 村田 精流 井上 龍明
志村 龍康 大根田 碧風 落井 清山 渡邊 泰山

岩岡 龍英
渡辺 悦泉

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

千葉県吟剣詩舞道総連盟 男子 千葉

渡部 浩風 萩原 勝風 飯島 滉風
渡邊 川風 積旺 小林 千容
福原 積旺 小川 昇曉

石澤 風風
本橋 博風

月夜三又口に舟を泛ぶ

三又中断す大江の秋
明月新たに懸る万里の流
碧天に向つて玉笛を吹かんと欲すれば
浮雲一片扁舟に落つ

高野 蘭亭

岳精流日本吟院総本部 男子 神奈川

野中 精隆 荒井 精水 池田 精嶽 好川 龍翔
佐相 宏風 古屋敷 哲風 山口 湊風 鈴木 潤山
横野 龍圭 石井 寅山

柏木 龍康

日本刀

鍛冶研磨す幾百回
霜鋒三尺玉に埃無し
疑わず日本刀の犀利なるを
曾て盤根錯節を試み来る

大鳥 圭介

契秀流吟詠会 Aチーム 男子 神奈川

七ツ矢 契旭 新倉 契菁 安部 契亘 増田 仙心
奥川 心令 石川 心昌 吉田 幸心 松岡 秀弘

相葉 契元
古澤 秀誠

汪倫に贈る

李白舟に乗つて将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

(公社) 関西吟詩文化協会浜松鷺長会 女子 静岡

飯田 報彰 菅沼 修蘭 森下 航琳 條 洋昌 鈴木 修唱
紀野 洋実 坂下 媛鷺 金井 詩鷺 太田 詠鷺

土屋 修桃

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

詩吟冽風流 Bチーム 女子 東京

佐藤 淑苑 石井 桃苑 井原 瑠苑 片岡 蕙苑 高橋 蓬苑
勝見 雅苑 蒲生 紅苑 神 吟喜 石川 吟桂 守屋 吟水

中村 皐苑

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

日本修道流吟詠会 女子 千葉

野島 修智 岡崎 修景 金杉 修光 水野 修信
小倉 修翔 服部 修節 高野 修光 若松 修香

布留川 修翠
藤城 修美

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

淡窓伝光霊流常磐詩道会 女子 茨城

岩井光 蔦子 武田光 湊子 江沢光 玖子 中野光 樹子 春日光 弦子
西嶋光 公子 桜井光 慶子 若宮光 娟子 岡本まり子 鈴木由美子

染谷光 葵子

36

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを轆め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

詩吟冽風流Bチーム 男子 東京
和田 尤堂 松田 奎堂
小須田壽堂 古村 江堂 渡辺 聖堂
十河 蓬堂 伊藤 顕堂
佐々木隆堂

大内 吟堂

相原 学堂

37

夜墨水を下る

よるぼくすい くだ
金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

日本修道流吟詠会Bチーム 男子 千葉
武井 修久 金江 修寛 橋本 修正
大貫 正山 金子 雅山 桐生 吉山
伊東 修昭
中原 修慶
山路 修晴
治山

中村 修昇

38

汪倫に贈る

汪倫に贈る
李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

心嶺流吟詠心嶺会 女子 東京
池田 蕙嶺 糠信 智嶺 土田 奏嶺
竹内 淡嶺 木野崎澄嶺 藤田 桃洲
古賀 佳嶺
野田 仙洲
青柳 絹嶺
成澤 華洲

北川 容嶺

39

桑乾を渡る

桑乾を渡る
客舎并州已に十霜
帰心日夜咸陽を憶う
端無くも更に渡る桑乾の水
却って并州を望めば是れ故郷

賈 島

神道流吟詠会 女子 福島
過足 青風 古川 明風 佐々木文風
伊藤 笙風 安孫子美風 鈴木 政風
細川 憲風
石山 公風
織田 秀風
古川 公風

40

汪倫に贈る

汪倫に贈る
李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

吟道絃仙流白鷗会Aチーム 女子 神奈川
寺田 暫螢 豊田 暫裳 夏梅 暫香
須藤 禪仙 前屋敷樹仙 高橋 泰仙
小山田仙豊
二瓶 露仙
内田 凜仙
小島 珠仙
菅原 雅仙

菅原 雅仙

41

汪倫に贈る

汪倫に贈る
李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の聲
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

吟道絃仙流白鷗会Bチーム 女子 神奈川
小川 暫詠 富田 暫風 井山 仙翠
石原 照仙 森 富仙 佐藤 彩仙
竹内 媛仙
初谷 良仙
松本 和仙
長谷川慈仙
浦田 美仙

浦田 美仙

42

中庸

中庸
勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勧む須らく中庸を択び去くべし
天下の万機は一誠に帰す

元田 東野

春洋流東洋吟詠会 男子 東京
石川 春学 伊藤 春聡 平尾 春健
小澤 春攻 服部 春滄 村野 春悠
小林 春黄
山崎 春敬
遠藤 春成
田嶋 春嶺
遠山 春匠

遠山 春匠

43

中庸

中庸
勇力の男児は勇力に斃れ
文明の才子は文明に酔う
君に勧む須らく中庸を択び去くべし
天下の万機は一誠に帰す

元田 東野

天洲流吟詠会 男子 東京
佐藤 遥洲 五明 穰洲 水政 介洲
筒井 岳洲 橋本 甫洲 山本 仁洲
星野 勇洲
田中 顕洲
川崎 要洲
佐藤 欽也
後藤 研洲

後藤 研洲

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを轍め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

詩吟冽風流Aチーム 女子 東京
和田 旭苑 木村 凜苑 福井 黎苑
青柳 咲苑 浜野 奏苑 石井 李苑

中嶋 杏苑
長谷川 青苑

木野内 星苑
鶴岡 城苑

中村 智苑

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを轍め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

詩吟冽風流Aチーム 男子 東京
秋山 槐堂 粕谷 鳳堂 近藤 麓堂
八木原 皇堂 井戸 玖堂 嶋田 照堂

石原 仁堂
絹山 功堂

橋本 行堂
大野 吟廣

齋藤 朴堂

漢江

溶々漾々として白鷗飛ぶ
緑浄く春深うして好し衣を染むるに
南去北来人自ら老ゆ
夕陽長えに送る釣船の帰るを

杜 牧

吟道絃仙流白鷗会Aチーム 男子 神奈川
戸室 誓洲 須藤 仙聖 橋口 泰仙
武井 尊仙 二宮 詠仙 大西 溯仙

田中 凡仙
久永 晃仙

平川 睦仙
山田 泉仙

杉山 硯仙

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

吟詠静風流 女子 東京
矢萩 鳳祥玉 阿部 祥華 御園 祥寛
牧野 田祥悦 萩原 祥友 伊藤 祥妙

村上 祥喜
吉富 祥幸

清水 祥啓
坂本 祥佐

小林 祥美

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

契秀流吟詠会Aチーム 女子 神奈川
佐藤 契渚 広瀬 契南 後藤 契弘
佐藤 心育 松田 心雅 小倉 希心

砂賀 契求
吉澤 蝶心

赤瀬 契映
毛呂 明秀

福盛 契月
高橋 契真

漢江

溶々漾々として白鷗飛ぶ
緑浄く春深うして好し衣を染むるに
南去北来人自ら老ゆ
夕陽長えに送る釣船の帰るを

杜 牧

吟道絃仙流白鷗会Bチーム 男子 神奈川
鈴野 誓鳳 大河原 仙獅 西嶋 正仙
今若 威仙 今井 梁仙 財津 蒼仙

彦坂 澄仙
坂上 夢仙

高星 房仙
岸 岑生

金井 真仙

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

神刀無念凱山流 女子 栃木
鈴木 凱翔仙 佐藤 凱凉仙 半田 凱焔仙
鹿野 凱向 大島 凱津 袖山 応山

斉藤 凱佳
小林 里子

原 凱康
饗庭 フサ子

鈴木 凱夏

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

吟道館流経風会 女子 千葉
鈴木 鶯風 中村 信風 菊地 花風
吉川 舜風 藤本 薫風 浅野 紅風

石村 妙風
佐治 玲風

山中 江風
斉藤 李風

山市 頌風

60

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

吟詠静風流 男子 東京

阿部 祥博 桑名 祥明 平井 鳳巖 相川 敬太郎
鈴木 孝 桑名 優希 窪田 繁樹 窪田 浩樹 窪田 実樹

大前 祥潔

61

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

吟道精修流Aチーム 女子 神奈川

後藤 慎修 加瀬 志勝 古澤 洋風 友西 静風
大井 生泉 林 佳泉 田辺 桂泉 山崎 淑子 清水 和風
村林 万里子

坂本 穂風
加瀬美恵子

62

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

且早流吟詠会 女子 東京

島田 且桜 古川 且柳 大牟田 且美 赤池 且順
細田 且節 真壁 知早 牧野 溢早 小林 隆早 川辺 且朝
榎吉 好水

西立野 且翠

63

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

清吟堂吟友会香川 女子 香川

和氣 末美 河井 早美 曾根 麗靖 山地 麗莉
為廣 麗響 中澤 麗陽 則久 郁代 大平 瑞翔 篠原 麗光
田中 麗早

篠原 麗素

64

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

公益社団法人日本吟道学院 女子 東京

勝間田 龍滯 栗原 龍幸 高橋 龍美 田中 龍麗
森川 龍利 村松 龍月 米長 優龍 渡辺 朋龍 島田 幸祥

星 龍恵

65

芳野懐古

古陵の松柏天鷹に吼ゆ
山寺春を尋ぬれば春寂寥
眉雪の老僧時に帯くことを輟め
落花深き処南朝を説く

藤井 竹外

吟亮流和花菜会 女子 東京

小竹 吟珠 田中 吟青 北島 吟京 御藤 吟爽
佐藤 吟溪 依田 美風 古谷 千風 齋藤 吟陽

横山 吟友

66

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

日本吟声流梅チーム 女子 熊本

山中 梅鈴 山中 鈴鶯 山中白梅子 山中紅梅子
坂田 鈴蒼 本郷 鈴裕 平根 鈴愛 田中 鈴裕

鯉川 鈴房

67

桑乾を渡る

客舎并州已に十霜
帰心日夜咸陽を憶う
端無くも更に渡る桑乾の水
却って并州を望めば是れ故郷

賈 島

岳精流日本吟院総本部 女子 神奈川

横山 龍精 大森 精翠 越智 精麗 松井 龍賢
郡司 明風 石原 薫風 中野 春風 富岡 嘉風 大井 龍静
荒井 純泉

相合谷 龍美

桑乾を渡る

客舎并州已に十霜
婦心日夜咸陽を憶う
端無くも更に渡る桑乾の水
却って并州を望めば是れ故郷

買か 島

岳精流日本吟院六郷岳精会 女子 東京

脇坂 龍津 前嶋 龍彩 大島 龍礼 上杉 龍景
井原 末子 小林 由紀 北野ますみ 成田 幸子 白井 春風
松野 典子

都築 加山

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

(公社) 関西吟詩文化協会公認東京芦孝会 男子 東京

伊藤 章誠 吉田 芦尚 中村 芦豊 本野 芦伯 安藤 芦粹
竹中 芦甚 島根 芦海 溝口 芦高 石川 芦讚 城田 芦宗

富安 芦芳

夜墨水を下る

金竜山畔江月浮ぶ
江揺ぎ月湧いて金竜流る
扁舟住まらず天水の如し
兩岸の秋風二州を下る

服部 南郭

千葉県吟剣詩舞道総連盟 女子 千葉

瓜生 國石 原田 悠風 阿久津臥風 中島 純風 高梨 積奈
池田 柔峰 支倉 積花 衣幡 俊峰 横山 燕峰 森田 成峰

佐藤 積玄

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

清吟堂吟友会愛媛 女子 愛媛

河内 麗翔 佐伯 瑞媛 山崎 麗宣 渡辺 麗萌 河野 秀子
吉岡 麗萌 清水 麗聖 井手 瑞節 上甲 麗耀 麗澄

紙野 麗月

汪倫に贈る

李白舟に乗って将に行かんと欲す
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

李 白

東京都吟剣詩舞道総連盟中野 女子 東京

成瀬 佳山 相田 華鐘 板橋 霜萌 石坂 圭子 金澤 紀子
辻 彩楓 林 和世 野地 聖月 滝本 紫苑

穴戸 霜翠

全国合吟コンクール上位入賞団体

- 昭和四十五年(三三〇)
優勝 錦城会女子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
三位 浦和吟詠会女子部
- 昭和四十六年(三四〇)
優勝 岳心流群馬愛吟国風会女子部
二位 岳風流岳精会男子部
三位 詩吟朗詠錦城会男子部
- 昭和四十七年(三五〇)
優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部
二位 神州流吟道会男子部
三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
- 昭和四十八年(三六〇)
優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部
二位 詩吟朗詠錦城会男子部
三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
- 昭和四十九年(三七〇)
優勝 岳心流群馬愛吟国風会女子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会男子部
三位 詩吟朗詠錦城会女子部
- 昭和五十年(三八〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会男子部
二位 神州流吟道会女子部
三位 関心流日本興道吟詩会女子部
- 昭和五十一年(三九〇)
優勝 詩吟朗詠錦城会女子部
二位 岳風流岳精会男子部
三位 朝翠流照鵬吟詠会男子部
- 昭和五十二年(四〇〇)
優勝 岳心流群馬愛吟国風会男子部
二位 岳精流日本吟院女子部
三位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
- 昭和五十三年(四一〇)
優勝 岳精流日本吟院男子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
三位 日本詩吟学院岳星会女子部
- 昭和五十四年(四二〇)
優勝 吟道清流風流清吟堂女子部
二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部
三位 岳精流日本吟院女子部
- 昭和五十五年(四三〇)
優勝 岳精流日本吟院女子部
二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部
三位 岳心流群馬愛吟中部吟詠会女子部
- 昭和五十六年(四四〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部
二位 吟道哲山流興風吟詠会男子部
三位 春洋流東洋吟詠会男子部
- 昭和五十七年(四五〇)
優勝 淡志光靈流大分詩道会女子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
三位 神州流吟道会女子部
- 昭和五十八年(四六〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会男子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会女子部
三位 岳心流群馬愛吟国風会男子部
- 昭和五十九年(四七〇)
優勝 吟道棋橋流總本部男子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会男子部
三位 宏井流宏井会男子部
- 昭和六十年(四八〇)
優勝 契秀流吟詠会女子部
二位 岳心流群馬愛吟国風会男子部
三位 紫虹流紫虹会女子部
- 昭和六十一年(四九〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部
二位 吟道哲山流興風吟詠会男子部
三位 紫虹流紫虹会女子部
- 昭和六十二年(五〇〇)
優勝 吟詠静風流女子部
二位 吟詠大獅子吼流中地区女子部
三位 雪山流日本吟詠学院女子部
- 昭和六十三年(五一〇)
優勝 心影流群馬愛吟詩道会女子部
二位 紫虹流紫虹会女子部
三位 心影流群馬愛吟詩道会男子部
- 平成元年(二二〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会男子部
二位 吟道清流風流清吟堂吟友会女子部
三位 紫虹流紫虹会女子部
- 平成二年(二三〇)
優勝 心影流群馬愛吟詩道会男子部
二位 三島朗吟会女子部
三位 吟亮流和花菜会女子部
- 平成三年(二四〇)
優勝 契秀流吟詠会女子部
二位 紫虹流紫虹会女子部
三位 吟道哲山流興風吟詠会女子部
- 平成四年(二五〇)
優勝 紫虹流紫虹会女子部
二位 吟道哲山流興風吟詠会女子部
三位 鶴洲流鶴洲吟詠会女子部
- 平成五年(二六〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部
二位 岳精流日本吟院女子部
三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部
- 平成六年(二七〇)
優勝 緑雲流吟道緑水吟詠会女子部
二位 岳心流上毛岳心会女子部
三位 春洋流東洋吟詠会女子部
- 平成七年(二八〇)
優勝 岳精流日本吟院男子部
二位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部
三位 吟道清流風流清吟堂吟友会香川女子部
- 平成八年(二九〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部
二位 吟道哲山流興風吟詠会男子部
三位 吟道清流風流清吟堂吟友会香川女子部
- 平成九年(三〇〇)
優勝 岳精流日本吟院女子部
二位 岳精流日本吟院女子部
三位 心嶺流吟詠心嶺会男子部
- 平成十年(三一〇)
優勝 岳精流日本吟院本部女子部
二位 雪山流日本吟詠学院女子部
三位 心影流愛吟詩道会男子部
- 平成十一年(三二〇)
優勝 吟道哲山流興風吟詠会女子部
二位 紫洲流日本明吟兵庫本部女子部
三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部
- 平成十二年(三三〇)
優勝 心影流愛吟詩道会男子部
二位 吟詠静風流女子部
三位 吟道哲水流八洲吟詠会女子部
- 平成十三年(三四〇)
優勝 岳精流日本吟院三河岳精会女子部
二位 契秀流吟詠会女子部
三位 岡山県吟詠詩舞道總連盟女子部
- 平成十四年(三五〇)
優勝 契秀流吟詠会女子部
二位 泰洲流詩吟詠会女子部
三位 心影流愛吟詩道会女子部
- 平成十五年(三六〇)
優勝 朝翠流朝翠会本部女子部
二位 岡山県吟詠詩舞道總連盟女子部
三位 詩吟洩風流女子部
- 平成十六年(三七〇)
優勝 吟道實室流近畿本部女子部
二位 大阪府吟詠詩舞道總連盟女子部
三位 泰洲流詩吟詠会女子部
- 平成十七年(三八〇)
優勝 臥風流吟詠会本部女子部
二位 岳精流日本吟院本部女子部
三位 吟亮流和花菜会女子部
- 平成十八年(三九〇)
優勝 岳精流日本吟院本部女子部
二位 吟道清流風流清吟堂吟友会女子部
三位 吟道清流風流清吟堂吟友会女子部
- 平成十九年(四〇〇)
優勝 〔狂〕岳精流日本吟詠會中地区連盟女子部
二位 心影流愛吟詩道会男子部
三位 心影流愛吟詩道会女子部
- 平成二十年(四一〇)
優勝 吟道棋橋流總本部女子部
二位 天長神容流女子部
三位 心影流愛吟詩道会女子部
- 平成二十一年(四二〇)
優勝 吟道精修流砂子吟志会女子部
二位 朝翠流朝翠会本部女子部
三位 岳精流日本吟院六郷岳精会女子部
- 平成二十二年(四三〇)
優勝 天長神容流女子部
二位 岳精流日本吟院本部男子部
三位 清吟堂吟友会女子部
- 平成二十三年(四四〇)
優勝 大阪府吟詠詩舞道總連盟女子部
二位 岳精流日本吟院三河岳精会女子部
三位 臥風流吟詠会本部女子部
- 平成二十四年(四五〇)
優勝 神州流吟詠会女子部
二位 心影流愛吟詩道会男子部
三位 岳精流日本吟院男子部
- 平成二十五年(四六〇)
優勝 紫虹流紫虹会女子部
二位 京都府吟詠詩舞道總連盟女子部
三位 吟道清流風流女子部
- 平成二十六年(四七〇)
優勝 愛和県吟詠詩舞道總連盟女子部
二位 岳精流日本吟院六郷岳精会女子部
三位 岳精流日本吟院總本部女子部
- 平成二十七年(四八〇)
優勝 岳精流日本吟院三河岳精会女子部
二位 北辰神明流日本修道館女子部
三位 詩吟洩風流女子部
- 平成二十八年(四九〇)
優勝 心影流愛吟詩道会女子部
二位 北辰神明流日本修道館女子部
三位 福岡県吟詠詩舞道總連盟女子部
- 平成二十九年(五〇〇)
優勝 天長神容流吟詠詩舞道總連盟女子部
二位 大阪府吟詠詩舞道總連盟女子部
三位 清吟堂吟友会女子部
- 令和元年(五一一)
優勝 福岡県吟詠詩舞道總連盟女子部
二位 契秀流吟詠会女子部
三位 岳精流日本吟院六郷岳精会女子部

第四十九回全国少壮吟詠家審査コンクール 決選大会入選者吟詠

一三時四〇分

1 月夜三叉口に舟を泛ぶ
高野蘭亭 吟 横山龍精

三叉中断す大江の秋
明月新たに懸る万里の流
碧天に向つて玉笛を吹かんと欲すれば
浮雲一片扁舟に落つ

2 阿嵎嶺
頼山陽 吟 中西紫風

危礁乱立す大濤の間
皆を決すれば西南山を見ず
鶺鴒は低迷し帆影は没す
天水に連なる処是れ台湾

第四十九回全国少壮吟詠家審査コンクール
決選大会入選者吟詠

3 金縷の衣

君に勧む惜しむ莫かれ金縷の衣
君に勧む須らく惜しむべし少年の時
花開いて折るに堪えなば直ちに須らく折るべし
花無きを待つて空しく枝を折る莫かれ

杜秋娘 吟 西岡 緑優

4 阿嵎嶺

危礁乱立す大濤の間
皆を決すれば西南山を見ず
鶺鴒は低迷し帆影は没す
天水に連なる処是れ台湾

頼山陽 吟 牛島 玲豊

5 西教寺を訪う

亀王の城壘荻蘆の秋
昨日の英雄何れの処にか求めん
長江に向つて往事を談ずる莫かれ
灘声月色愁いに堪えず

広瀬淡窓 吟 大森 麗禎

貴方の華麗な技を、衣裳でサポート……

- 袴 (御仕立上り) ¥36,000～
- 紋付 (御仕立上り) ¥25,000～
- 角帯 ¥8,000～

・御希望の寸法、型式に御仕立いたします。
・御気軽にお問い合わせください。
オリジナルカタログをお送りいたします。

廣部商事株式会社

〒604-0024
京都市中京区衣棚通御池上ル
電話 (075) 221-8525 (代)
FAX (075) 221-8526

<http://www.hirobe-shoji.co.jp>

ひろべ商事 ウェブ検索

吟剣詩舞用
袴・紋付・特殊衣装
角帯・和装品

幼少年代表・開催地代表・ 全国地区連絡協議会推薦 吟剣詩舞

一四時〇五分～

〈幼少年代表 吟剣詩舞〉

〈東日本地区連絡協議会代表〉

泉岳寺

坂井虎山

吟
松宮わかば
鈴木友唯

豊田 菜波

飯島紗理那

小野希季子

大橋こころ

山嶽崩すべし海翻えすべし

舞
神田 蓉

那須 惟織

澤村 龍征

澤村 遙希

田口 穂

消せず四十七臣の魂

舞
榎山 粹生

榎山 幸聖

上野 蒼空

関田 刀馬

岡 龍良

墳前满地草苔湿う

吟
松宮わかば

豊田 菜波

飯島紗理那

小野希季子

大橋こころ

尽く是れ行人流涕の痕

舞
鈴木友唯

豊田 菜波

飯島紗理那

小野希季子

大橋こころ

弘道館に梅花を賞す

徳川景山

吟
松宮わかば

豊田 菜波

飯島紗理那

小野希季子

大橋こころ

弘道館中千樹の梅

舞
風原 航輝

小野寺勇太

太田 紗代

田村 笑愛

小林めぐみ

清香馥郁十分に開く

舞
吉澤 縁

小野寺勇太

太田 紗代

田村 笑愛

小林めぐみ

好文豈威武無しと謂わんや

舞
吉澤 縁

小野寺勇太

太田 紗代

田村 笑愛

小林めぐみ

雪裡春を占む天下の魁

舞
吉澤 縁

小野寺勇太

太田 紗代

田村 笑愛

小林めぐみ

幼少年代表・開催地代表・
全国地区連絡協議会推薦 吟剣詩舞

〈開催地代表 吟剣詩舞〉

〈東京都吟剣詩舞道総連盟〉

九段の桜

至誠烈々乾坤を貫く
忠勇の誉は高し靖国の門
花は九段に満ちて春海の若し
香雲深き処英魂を祭る

本宮三香

吟 熊木 雪洲
野坂 隆玄
五月女凱昂
小峯 昊苑
渡辺 錦翔
多嘉良誠翔
野中 政利
丹治 独風
三枝 契憲
垣下 真萩
長谷川煌研
武藤 嶺栄
鈴木 鳳洲

松竹梅

寿福愈開く松竹梅
君が家今日はれ蓬萊
亀遊び鶴舞い人還酔う
無限の歓懐玉杯に在り

松口月城

吟 毛塚 静精
鈴木 洲玉
寺山 天洲
石川 春芳
渡 精華
中野 吟紫
奥村 精曄
土屋 恵鵬
高橋 嶺香
木村 鳳鶴
大槻 彩瑩

〈全国地区連絡協議会推薦 吟剣詩舞〉

〈東日本地区連絡協議会代表〉

富士山

仙客来り遊ぶ雲外の巔
神竜棲み老ゆ洞中の淵
雪は紈素の如く煙は柄の如し
白扇倒しまに懸る東海の天

石川丈山

吟 梶原 莉音
鈴木 碧
吉ヶ江 愛
辻 和樹
吉ヶ江千穂
角田 紗羅

〈四国地区連絡協議会代表〉

鳴門海峡

阿淡中断して 本湍を作す
幾百の盤渦 胆肝を奪う
瞰下す大観 真に壮絶
風光正に是 日東に冠たり

荒瀬松翁

吟 原田 瑞祥
大平 瑞應
市原 善鶯
加藤 博心

幼少年代表・開催地代表・
全国地区連絡協議会推薦 吟剣詩舞

全国コンクール優勝者の披露

一四時四〇分

- 令和三年度全国剣詩舞コンクール決勝大会（令和三年十二月二十七日、東京・笹川記念会館国際ホールで実施）
- 令和三年度全国吟詠コンクール決勝大会（令和三年十二月二十八日、東京・笹川記念会館国際ホールで実施）
- 令和元年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会（令和二年二月九日、東京・笹川記念会館国際ホールで実施）
- 令和三年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会（令和四年二月十三日、東京・笹川記念会館国際ホールで実施）

〈剣詩舞コンクール〉

幼年の部 | 剣舞 |

剣舞 塙 寛介（中部地区代表・愛知）

将に東遊せんとして壁に題す
 男児志を立てて郷関を出ず
 学若し成る無くんば復還らず
 骨を埋むる何ぞ期せん墳墓の地
 人間到る処青山有り

積月性

幼年の部 | 詩舞 |

詩舞 深井 萌衣（中部地区代表・岐阜）

山行
 遠く寒山に上れば石径斜なり
 白雲生ずる処人家有り
 車を停めて坐に愛す楓林の晩
 霜葉は二月の花よりも紅なり

杜牧

少年の部 | 剣舞 |

剣舞 堀 真悠子（中部地区代表・愛知）

九月十三夜陣中の作
 霜は軍営に満ちて秋気清し
 数行の過雁月三更
 越山併せ得たり能州の景
 さもあらばあれ家郷遠征を憶う

上杉謙信

一般三部 | 剣舞 |

剣舞 中瀬古 眞一郎（近畿地区代表・大阪）

易水送別
 此地燕丹に別る
 壮士髮冠を衝く
 昔時人已に没し
 今日水猶お寒し

駱賓王

少年の部 | 詩舞 |

詩舞 森 凜華（中部地区代表・愛知）

桜祠に遊ぶ
 花開けば万人集まり
 花尽くれば一人無し
 但見る双黄鳥
 緑陰深き処に呼ぶを

広瀬旭荘

一般三部 | 詩舞 |

詩舞 伊藤 トモエ（中部地区代表・愛知）

春月
 春梢月出でて清暉淡し
 甚事ぞ飄然として雪衣を撲つ
 影は枝間に透りて香霧散じ
 栖禽驚起して花を踏んで飛ぶ

菅 焦 鄰

一般二部 | 剣舞 |

剣舞 坂上 晃 (近畿地区代表・兵庫)

易水送別
此の地燕丹に別る
壮士髮冠を衝く
昔時人已に没し
今日水猶お寒し

駱 賓 王

青年の部 | 剣舞 |

剣舞 原 光希 (近畿地区代表・兵庫)

易水送別
此の地燕丹に別る
壮士髮冠を衝く
昔時人已に没し
今日水猶お寒し

駱 賓 王

一般二部 | 詩舞 |

詩舞 佐々木 まなみ (近畿地区代表・京都)

春月
春梢月出でて清暉淡し
甚事ぞ飄然として雪衣を撲つ
影は枝間に透りて香霧散じ
栖禽驚起して花を踏んで飛ぶ

菅 焦 鄰

青年の部 | 詩舞 |

詩舞 五月女 智仁 (東日本地区代表・栃木)

弘道館に梅花を賞す
弘道館中千樹の梅
清香馥郁十分に開く
好文豈威武無しと謂わんや
雪裡春を占む天下の魁

徳 川 景 山

一般一部 | 剣舞 |

剣舞 荒谷 早智子 (中部地区代表・愛知)

易水送別
此の地燕丹に別る
壮士髮冠を衝く
昔時人已に没し
今日水猶お寒し

駱 賓 王

一般一部 | 詩舞 |

剣舞 鈴木 宏美 (中部地区代表・愛知)

春月
春梢月出でて清暉淡し
甚事ぞ飄然として雪衣を撲つ
影は枝間に透りて香霧散じ
栖禽驚起して花を踏んで飛ぶ

菅 焦 鄰

〈吟詠コンクール〉

幼年の部

吟詠 阿部 尊生 (東日本地区代表・東京)

偶成
少年老い易く学成り難し
一寸の光陰軽んずべからず
未だ覚めず池塘春草の夢
階前の梧葉已に秋声

朱 熹

少年の部

吟詠 山中 七海 (九州地区代表・熊本)

九月十日
去年の今夜清涼に侍す
秋思の詩篇独り断腸
恩賜の御衣今此に在り
捧持して毎日余香を揮す

菅 原 道 真

全国コンクール優勝者の披露

一般三部

吟詠 竹内 芳子 (中部地区代表・岐阜)

桶狭間を過ぐ

大田 錦城

荒原古を弔う古墳の前
戦い克つて将驕る何ぞ全きを得ん
怪風雨を吹いて昼晦の如し
驚破す奇兵の天より降るか

青年の部

吟詠 松葉 真緒 (近畿地区代表・大阪)

立山を望む

国分 青厓

夢に名山を見ること四十年
暮に山麓に投ずれば只雲煙
天明日出でて驚き相揖すれば
玉立せる群仙我が前に在り

一般二部

吟詠 石田 義則 (九州地区代表・大分)

桶狭間を過ぐ

大田 錦城

荒原古を弔う古墳の前
戦い克つて将驕る何ぞ全きを得ん
怪風雨を吹いて昼晦の如し
驚破す奇兵の天より降るか

一般一部

吟詠 荒崎 有紀江 (東日本地区代表・神奈川)

赤馬が関舟中の作

伊形 霊雨

長風浪を破つて一帆還る
碧海遙かに回る赤馬が関
三十六灘行くゆく尽きんと欲す
天辺始めて見る鎮西の山

〈令和元年度剣詩舞群舞コンクール〉

群舞・剣舞

剣舞 入倉 仁美 (中部地区代表・愛知)

堀 由起子 堀 真悠子

一の谷懐古

梁川 星巖

二十余春夢一空
豪華吹き散ず海嘯の風
山は殺気を排して参差として出で
潮は冤声を泣らせて日夜東す
憶う昔満宮去鶴を悲しみ
往事を將つて飛鴻に問わんと欲す
爛斑刺し見る英雄の血
塹樹鵲啼いて朶々紅なり

群舞・詩舞

詩舞 西浦 輝 (中部地区代表・愛知)

建部 花実 野田 璃珠

大日方 心海 森 凜華

天草洋に泊す

頼山 陽

雲か山か呉か越か
水天髣髴青一髪
万里舟を泊す天草の洋
煙は篷窓に横たわって日漸く没す
瞥見す大魚の波間に躍るを
太白船に当って明月に似たり

〈令和三年度剣詩舞群舞コンクール〉

群舞・剣舞

剣舞 坂上 晃 (近畿地区代表・兵庫)

増井 章高 増井 康二

懐古 積 萬 庵

楠公の雄略風雷を鼓す

惜しむ可し中興綱紀の類るるを

台嶺の偏裨百戦に勞し

摂川の旌節重ねて回らず

鬼神未だ測らず韓彭の策

天地空しく生ず管葛の才

海上の孤碑争うて涙を墜す

年々春雨青苔を洗う

群舞・詩舞

詩舞 佐野 利恵子 (中部地区代表・愛知)

永井 聡多 柴田 讓

柴田 絵梨 吉川 真央

月夜荒城の曲を聞く 水野 豊州

栄枯盛衰は一場の夢

相思恩讐悉く塵煙となる

星移り物換るは刹那の事

歲月忽々逝いて還らず

史編読み続く興亡の跡

甲涙幾回か几前に灑ぐ

今夜荒城月夜の曲

哀愁切々当年を憶う

第五十二回

全国吟剣詩舞道大会特別企画吟剣詩舞

構成番組

頼山陽

一六時〇〇分

原作

中西 倭

脚本・演出

加納 誠旺

ナレーション

竹内さやか

常盤津

迫 希実秀

絵コンテ

常盤津綱鵬

林 みどり

構成番組

頼山陽

脚本・演出

原作
中西 倭
加納 誠旺

頼山陽の稀代の名文は、胸にたまった血潮を一気に吐き出す如く鋭く熱い。

それは脚なくして百里を走り、翼なくして千里を飛び、日本の津々浦々にて愛誦され、半生を掛けて編纂した歴史書「日本外史」は、幕末の志士たちの尊王思想へ大きな影響を与えたと言われている。中でも次男三樹三郎が維新に殉じたのは何とも皮肉なことである。

江戸時代きつての文人、知識人として知られる彼は、物において、酒において、女性において、さらには名

誉に於いても貪欲で、破天荒で、いかなる束縛をも嫌う人物であった。

にもかかわらず、日本人の心に深く入り込んで共感を呼ぶ多くの漢詩を書き、膨大な歴史資料を書き残した。限られた命の中で、正に超人的な努力と才能の人物としか言いようがない。

彼の五感から放たれる一字一語は、あたかも時空を越えて、その時代や、場所や、人柄や、匂いまでもが伝わってきそうではない。

1 本能寺

頼山陽

吟 吟詠スーパージーム

森田 夏星 向山 侑諒

藤吉光瑞子

井戸 水帝 原 瑞真

松葉 水滯

坂本 麗峰

舞 剣詩舞スーパージーム

五月女凱昂 見城星梅月

鈴木 悠容

杉浦 裕容 入倉 昭山

上岡 眺隆

上岡 眺雅 多田正千衣

増井 鯉冠

早淵 鯉仙 青柳 芳慈

堀木 咲明

本能寺溝は幾尺なるぞ
吾大事を就すは今夕に在り
菱粽手に在り菱を併せて食う
四簷の梅雨天墨の如し
老の坂西に去れば備中の道
鞭を揚げて東を指せば天猶お早し
吾が敵は正に本能寺に在り
敵は備中に在り汝能く備えよ

2 源廷尉弓を波上に収むるの図

頼山陽 吟 星野 紫榮 林 煌彩

弓力誰か嘲る札を穿たずと
南軍鼓を落として肝先ず寒し
間かに偃月波間の影を収め
掛けて身辺に向かつて万衆看る

3 上杉謙信

頼山陽 吟 中野 祥理 石川 渾鳳

冑に円頭を被い鎧に緇を襲ぬ
幾回か棒喝して旌機を闘わす
中原の衣鉢誰か伝え得たる
却って属す傍観の吉法師

4 述懐

頼山陽 吟 浅田 聖謙 石川 春海 大山 宗鵬

十有三春秋
逝く者は已に水の如し
天地始終無く
人生生死有り
安くんぞ古人に類して
千載青史に列するを得ん

入倉 昭星 入倉 昭鳳 小野未紗希
小西 証輝 内藤 実樹 星野 信孝
大根 佳枝 河辺 喜隆

5 楠公子に訣るるの図に題す

頼山陽 吟 岩永 優岳 関口 麗煌 増井 鯉康

海甸の陰風草木腥し
史編特筆姓名馨し
一腔の熱血余瀝を存し
児曹に分与して賊庭に灑がしむ

早淵 鯉將 坂上 鯉盛

6 生田に宿す

千歳恩讐両つながら存せず
風雲長えに為に忠魂を弔う
客窓一夜松籟を聴く
月は暗し楠公墓畔の村

菅茶山

吟 野中 秀宗

伊東 響峰

7 不識庵機山を撃つの凶に題す

鞭声粛々夜河を過る
曉に見る千兵の大牙を擁するを
遺恨十年一剣を磨き
流星光底長蛇を逸す

頼山陽

吟 今城 龍榮

蒔田淳芽心

舞 山本 兼正

山本 浩正

伊奈 康熙

関根 秀人

松山 晃之

谷澤 猛

笹野 拓宏
長谷川京香

8 赤穂義士

旧恩新怨自ら分明
義胆盟を結ぶ是れ弟兄
若し一時の豪侠の拳に出るとせば
宜しく言うべし四十六の荊卿と

頼山陽

吟 松葉 水章

田村 鳳泉

9 淀河

源路窮め難し六七州
洋々として斜めに五畿を貫いて流る
煙波夜罩む 摂河の野
楊柳春牽く 淀沢の舟
雨渚の荻蘆には 鴻雁宿り
晴湾の青藻には 鯉魚游ぐ
将に海に帰らんとする 處城畫の如く
十萬の人家霞外に浮かぶ

篠崎 小竹

吟 奥山 紅雫
山中梅鈴子

長谷川素栄

林 杏泉

10 母を憶う

秋風吾を吹いて冷かなり
還木葉吹いて舞う
吹いて故園の樹に到るとも
慈母の夜を侵すこと勿れ

頼山陽

吟 原田光玲子

11 胄山の歌

胄山 昨我を送り
胄山 今吾を迎う
黙して数うれば 山陽 十たび往返
山翠は依然たるも 我は白鬚
故郷に親有り 更に衰老
明年当に復此の道を下るべし

頼山陽

吟 土澤 美岳

向山 侑真

舞 杉浦 英容 建部 樊容

大日方佳容

12 嵐山に遊ぶ

清溪一曲水迢々
水を夾むの桜花影も亦嬌なり
桂楫誰が家の貴公子ぞ
落紅深き処坐して簫を吹く

頼山陽

吟 猪木原 凜泉

菊野 桜山

13 舟大垣を発し桑名に赴く

蘇水遙々海に入つて流る
櫓声雁語郷愁を帯ぶ
ひとり天涯に在つて年暮れんと欲す
一篷の風雪濃州を下る

頼山陽

吟 安藤 聖楓

野嶋 帆楓

14 夏の夜

江馬細香

歌

梶原麗修

加藤契琵

雨晴れて庭上竹風多し
新月眉の如く織影斜なり
深夜涼を貪さぼりて窓を掩おわず
暗香枕に和す合歡の花

15

蓮子を拈って鴛鴦を打つ 江馬細香

吟

宇井修光

向山侑珠

雙び浮かび雙び浴して緑波微なり
解せず人間に別離有るを
戯れに蓮心を取って地上に擲ち
分飛して汝に暫く相思わしめんと要す

16

梅花煙月の図

梁川紅蘭

吟

堤龍美

小池貴心

朦朧たる澹月昏黄に挂かる
残雪枝を綴り斜めに墻を出づ
羨殺す花間の双翠羽
春眠夢は暖かにして夜雲香しきを

舞

藤上翔山
松永楓山

今脇萌山
内藤秀山

永岡笙山

和歌「旅だつも」

頼 静子

吟

米本 耿泉
松葉 水緑

中武 玲星

尾崎 水紅

「いざと子の」
「なかれての」
「あしろ木に」

旅だつもたちないそぎそ老いの身は
又あふことも末しらぬよに

いざと子のさはざりけん玉くしげ
こたびもみつるみよしのの花

なかれての末や思ひを川つらに
蛍かりするめをのうなひら

あしろ木にかかれるなみの音ふけて
月そかたふく宇治の遠かた

静御前

頼 山陽

吟

伊藤 契麗
山岡 桜山

八代光晃子

塩澤 宗鳳

工藤の銅拍秩父の鼓
幕中酒を擧げて汝の舞を觀る

しずやしずしずの苧環繰返し

むかしをいまになすよしもがな

一尺の布猶縫う可し

況や是繰車百尺の縷をや

よしの山みねの白雪ふみわけて

いりにし人のあとぞこひしき

回波回さず阿哥の心

南山の雪終古に深し

獄中の作

頼 鴨 厓

吟 前田 卓靈

佐々木 秀景

巽 吟城

雲を排して手ずから 妖燐を掃わんと欲し

失脚落ち来る 江戸の城

舞 多田 正満

多田 正稔

多田 正晃

井底の痴蛙 憂慮に過ぎ

多田 正千世

天邊の大月 高明を缺く

身は鼎鑊に臨んで 家に信無く

夢に鯨鯢を斬つて 剣に聲有り

風雨多年 苔石の面

誰か題せん日本の 古狂生

日の出ずる処

頼 山 陽

吟 河野 鶴聲

和田 彩楓

日の出ずる処 日の没する処

両頭の天子 皆天署す

扶桑 鶏号いて 朝已に盈も

長安 洛陽 天未だ 曙ならず

羸は穎れ 劉は蹶きて 日没を趁ひ

東海の一輪 旧に依りて出ず

ニューハンディトレーナー2

HT-200

NEW

水光社から新登場！
業界初の「楽器とチューナー4種類」搭載
正しい音程を、耳と目で簡単に覚えられます！



通常 下取りのある場合
38,500円(税込) **32,500円** (税込)

- ・スキルアップしたい方には必須楽器
- ・軽くて持ち運びに便利
- ・4音色、メロディー10曲内蔵
- ・電池で使用可、省エネモード搭載
- ・付属品イヤホン、ソフトケース、電池
- ・水光チューナー搭載


寸法/幅 300mm × 奥行210mm × 高さ55mm

水光チューナー機能紹介



- ・スキャンモード
音程を線にて表示
アクセントチェックに最適
- ・音程モード
音程を矢印にて表示
母音のチェックに最適
- ・鍵盤モード
音程を色で表示
標準から音ズレを一目でチェック

少しでも興味を持った方は
お気軽にお問い合わせください。
右下QRコードから商品紹介ページも
ご覧になれます。



指差をする立場の方へ
KT-1000 **絆 トレーナー** 87,780円(税込)



- ・吟剣詩舞振興会指定伴奏内蔵
- ・続・吟剣詩舞振興会指定伴奏内蔵
- ・君が代、オーケストラなど
総伴奏数 57曲
- ・ボディカラー2色(コバルトブルー・ワインレッド)
- ・単音、和音切り替え可能
- ・マイク機能(トレーナーから声が出ます)

寸法/幅 300mm × 奥行210mm × 高さ55mm

絆本体 87,780円(税込)
USB拡張 6,050円(税込)
下取りのある場合 -10,000円
合計 83,830円(税込)

絆がさらに便利な楽器に
USB拡張機能 6,050円(税込)



- ・複数のCDをひとまとめに。
 - ・絆で再生時に±5本の範囲で本数変更可能
 - ・CDの原曲にない本数でも練習できます。
 - ・再生と同時に鍵盤での演奏も可能。
- ※USB別売り
※すでに絆をお持ちの方はお問い合わせください。

オプション品(別売り品)

- 軽量&強力 ACアダプター 3,300円(税込)
- 絆用キャリングバッグ 4,620円(税込)
- マイク 3,080円(税込)
- 吟剣詩舞 吟吟パッチ 888円(税込)
- 吟吟マスク1枚 M/L 6色 700円(税込)

初心者の方にオススメ HT-100
ニューハンディトレーナー 31,240円(税込)



- ・音色4色
- ・練習用伴奏曲内蔵済
- ・付属品、イヤホン、ソフトケース、電池
- ・ボディカラー2色(ワインレッド・ゴールド)
- ・段階に応じてバージョンアップも
出来るので長く使える楽器
- ・シンプルな初心者用

寸法/幅 300mm × 奥行210mm × 高さ55mm

ニューハンディトレーナー 31,240円(税込)
下取りのある場合 -6,000円
合計 25,240円(税込)

『ニューハンディトレーナー』を
すでにお持ちの先生方へ

UP GRADE
追加機能料金
12,760円(税込)

お手持ちの『ニューハンディトレーナー(HT-100)』に
チューナー機能をつける事が出来ます。
まずはお気軽にご相談ください！

水光社公式のLINEが出来ました！
LINEなら、いつでも気軽に。

公式HPに商品紹介や
解説動画もあるので下記の
QRコードから一度ご覧になって下さい。
少しでも気になることがあれば
お問い合わせお待ちしております。

水光社 HP LINE
公式 LINE
https://www.suikohsha.com/
https://signinjapan.com/



令和四年度全国吟詠合吟コンクール 入賞団体発表と表彰及び大合吟

〈大合吟〉

吟剣詩舞道讃歌

あした ぎん けん し ぶ どう さん か
朝に 吟 じ 夕に 舞 う て 心 身 を 練 り
れい せう じ きた な が しん やしの
礼 節 持 し 来 っ て 互 い に 真 を 養 う
せ かい い っ か み な わ とも
世界 は 一 家 皆 我 が 友
ね が し ど う お こ じん りん た だ
願 わ く は 斯 道 を 興 し て 人 倫 を 正 さ ん

笹川 良一



公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会詩
笹川良一 創始会長 書

全国吟詠合吟コンクール入賞団体発表と
表彰及び大合吟

一七時三五分

株式会社 水光社

0120-5631-88(無料)
〒171-0022
東京都豊島区南池袋 2-19-1 伊藤ビル401
TEL 03-3986-5631 FAX 03-3986-8832

※送料は全国一律970円
※アダプターのみ場合は640円
※2台以上のご購入は送料無料
※お支払いは分割も可(分割手数料は当社負担)
※下取りの際の送料は元払いをお願いします。

〈出演〉

(公財) 日本吟剣詩舞振興会

吟詠・剣舞・詩舞諸流宗家・会長・会員

〈スタッフ〉

特別企画構成番組脚本

演出

中西 倭
加納 誠旺

舞台監督

松本 仁志

音楽

河野 正明
小野 尊由
渡辺 剛康

音楽コーディネーター

さんしやいん社

音響効果

小西 幸久

音響操作

(株)フリーダムサウンド

照明操作

(株)六工房

映像

(株)エージェンシーコーポレーション

〈演奏〉

常盤津

常盤津 網鵬

〈制作統括〉

(公財) 日本吟剣詩舞振興会



公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

NIPPON GINKENSHIBU FOUNDATION

一〇五〇〇〇一 東京都港区虎ノ門三―四―一〇(虎ノ門三五森ビル)

電話 〇三―六七二―五九五〇

会場での録音、録画はいつさいお断りします。
なお当日会場に録音、録画機器を持ちこむことはできません。

北とびあ・さくらホール
東京都北区王子一丁目十一番一号
電話 〇三―五三九〇―一一〇〇

吟詠テキスト(A4版) 上段には詩文にアクセントと解説 下段には十線譜に音程を表記

- ◆中国絶句編 [105題] 3,000円(税別)
- ◆日本絶句編 [125題] 3,200円(税別)
- ◆短・和歌編 [115題] 3,500円(税別)
- ◆中国律詩編 [66題] 3,400円(税別)
- ◆日本律詩編 [63題] 3,600円(税別)



- ◆吟詠と音の関係について 2,800円(税別)
- ◆詩吟と歌を結ぶ声の高さ 2,500円(税別)
- ◆尺八・箏の詩吟伴奏 4,500円(税別)

吟詠カラオケ 音程別伴奏カセットテープ <低10本(水3)~9本まで12音階>

- ◆一般編(尺八・箏) 2,200円(税別)
- ◆祝賀編(尺八・箏・十七弦・鼓・横笛) 2,200円(税別)
- ◆オーケストラ編(シンセサイザー) 2,200円(税別)
- ◆絶句編(尺八・箏) 2,000円(税別)
- ◆和歌編(尺八・箏) 2,000円(税別)

(有)三協図書出版社

〒502-0004 岐阜市三田洞861番地の2
TEL058-237-5837(代) FAX058-237-6651